

# Syllabus

令和3年度

---

授業要綱

学校法人 野又学園  
函館歯科衛生士専門学校

1年生



# 教育課程

分野	教育内容	学科目	単位数	時間数	1年	2年	3年
基礎	科学的思考の基礎	生物	2	30	30		
		情報処理	2	30	30		
		衛生統計	1	15		15	
	人間と社会の理解	英語コミュニケーション	1	20	20		
		心理学Ⅰ	1	20	20		
		心理学Ⅱ	1	20		20	
		国語表現	2	30	30		
小計			10	165	130	35	
専門基礎	人体(歯と口腔を除く)の構造と機能	解剖・生理	3	45	45		
		生化学	1	15	15		
	歯・口腔の構造と機能	口腔組織	1	15	15		
		口腔生化学	1	15	15		
		口腔解剖	2	30	30		
		歯牙解剖	1	15	15		
		口腔生理	1	15	15		
	疾病の成り立ちと回復の促進	病理学	2	30	30		
		薬理学	2	30		30	
		微生物学	2	30	30		
	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会のしくみ	保健生態学Ⅰ	2	30	30		
		保健生態学Ⅱ	3	45		15	30
		衛生行政	1	15			15
社会福祉		1	15			15	
小計			23	345	240	45	60
専門	歯科衛生士概論	歯科衛生学総論	1	15	15		
		歯科医療倫理	1	15		15	
	臨床歯科医学	保存修復	1	20	20		
		歯内療法	1	20	20		
		歯周疾患	1	30	30		
		放射線	1	30		30	
		歯科補綴	1	30		30	
		矯正歯科	1	30		30	
		小児歯科	1	20		20	
		口腔外科	2	40		40	
		障がい者歯科	1	15		15	
		高齢者・有病者歯科	1	30		30	
	歯科予防処置論	口腔保健管理Ⅰ	5	200	200		
		口腔保健管理Ⅱ	4	160		160	
	歯科保健指導論	口腔保健管理Ⅲ	2	80			80
		栄養指導	1	30			30
		摂食嚥下	1	15		15	
		口腔リハビリテーション	1	20		20	
		地域包括ケア	1	15			15
歯科診療補助論	診療補助Ⅰ	3	120	120			
	診療補助Ⅱ	2	80		80		
	診療補助Ⅲ	1	40			40	
	看護学	1	30		30		
	介護概論	1	15		15		
介護技術	1	40		40			
臨地・臨床実習	臨地・臨床実習	20	900	90	360	450	
小計			57	2040	495	930	615
選択必修	選択・必修分野	接遇・マナー	1	15	15		
		体育	1	40	40		
		歯科医療事務	2	40			40
		学級コミュニケーション	4	160	80	40	40
		課題研究	2	60		30	30
		総合講義	4	120			120
小計			14	435	135	70	230
合計			104	2985	1000	1080	905

※ 1単位・・・講義 15～30時間

実技・演習 40時間

実習 45時間

# 授業進度表

		1年前期				
科目	頁	4月	5月	6月	7月	8月
生 物	4	●—————●				
情 報 処 理	5	●—————●				
英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	6～7	●—————●				
心 理 学 I	8	●—————●				
国 語 表 現	9	●—————●				
解 剖 ・ 生 理	10～11	●—————●				
生 化 学	12	●—————●				
口 腔 組 織	13	●—————●				
口 腔 生 化 学	14	●—————●				
口 腔 解 剖	15	●—————●				
歯 牙 解 剖	16	●—————●				
口 腔 生 理	17	●—————●				
病 理 学	18	●—————●				
微 生 物 学	19	●—————●				
保 健 生 態 学 I	20	●—————●				
歯 科 衛 生 学 総 論	21	●—————●				
保 存 修 復	22	●—————●				
歯 内 療 法	23	●—————●				
歯 周 疾 患	24	●—————●				
口 腔 保 健 管 理 I	25～27	●—————●				
診 療 補 助 I	28～29	●—————●				
臨 地 ・ 臨 床 実 習	30	●—————●				
接 遇 ・ マ ナ ー	31	●—————●				
体 育	32	●—————●				
学 級 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	33～34	●—————●				



教科名	生物	時期	1年 前期	担当者	徳山 俊三	実務・ <b>一般</b>
単位(時間数)	2 ( 30 )	形態	講義			
<b>概要</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>生命科学は生物を基礎にした学問である。生物では、生命はいかにして誕生したのか、生命の単位である細胞と組織・生殖と遺伝・環境と動物の反応などについて学ぶ。</li> </ul>						
<b>到達目標</b>						
1 医療関係職種に共通する生物の基礎知識を系統的に学習し、歯科衛生士として生物学の知識と応用を体得して医療に携わることを目標とする。						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>
1 生命とは何か (①生物には特徴がある ②生命をつくる物質)						徳山
2 生命の誕生 (①原始の地球 ②化学進化と有機物の起源 ③原始細胞)						〃
3 生命の変遷 (①単細胞の生命体 ②核と細胞小器官の起源 ③生物の進化の仕組み)						〃
4 生物は細胞からできている (①細胞をつくる物質 ②生命の単位―細胞)						〃
5 生物は細胞からできている (③細胞小器官 ④細胞のさまざまな活動)						〃
6 細胞の一生と個体の成り立ち (①細胞の一生 ②単細胞生物と多細胞生物)						〃
7 細胞の一生と個体の成り立ち (③ヒトの組織 ④ヒトの器官)						〃
8 生殖によって子孫をつくる (①生殖の方法 ②減数分裂)						〃
9 遺伝と遺伝子 (①遺伝とその法則 ②生命をつくる仕組み ③遺伝子を働かせる仕組み)						〃
10 発生して体をつくる (①発生の過程 ②発生の仕組み)						〃
11 刺激の受容と反応 (①動物は感覚器で刺激を受容する ②神経系による刺激の伝達)						〃
12 刺激の受容と反応 (③中枢神経と末梢神経 ④反応と効果)						〃
13 内部環境を保つ仕組み (①多細胞生物の細胞 ②ホルモンとその働き)						〃
14 内部環境を保つ仕組み (③自立神経とホルモン ④生体防御)						〃
15 動物の行動と変化 (①動物のさまざまな行動 ②ヒトの進化と未来)						〃
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>		
最新 歯科衛生士教本 生物学				小テスト(50点) 筆記試験(50点) 合計100点		
<b>留意事項</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>配布されるプリントは予習準備と復習となるため、必ず学習すること</li> <li>小テストにより復習の度合いを確認する</li> </ul>						

教科名	情報処理	時期	1年 前期	担当者	山崎 幸路	実務・ <b>一般</b>
単位(時間数)	2 ( 30 )	形態	講義・演習			
<b>概要</b>						
<p>情報処理操作の基礎として、パソコンの代表的なアプリケーションソフトであるマイクロソフトの「ワード」「エクセル」「パワーポイント」の操作技能を習得する。</p>						
<b>到達目標</b>						
<p>1 タッチメソッドを理解し、キーボード入力ができる。  2 ワードソフトを利用し、画像利用、地図作成などを含めた簡単なビジネス文書が作成できる。  3 パワーポイントソフトを利用し、画像、エクセルデータを素材とするプレゼンテーション資料が作成できる。  4 エクセルソフトを利用して、グラフ資料、いろいろな関数を利用した資料が作成できる。</p>						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>
<p>1 基本操作(用語解説、セキュリティ、不具合対応、データ危機管理)、タッチメソッド習得、文書入力測定1  2 Word操作(文字入力、表の編集)  3 Word操作(アイコン、イラストの挿入)  4 Word操作(実務的ビジネス文書、差し込み印刷)  5 Word操作(画像の挿入と編集、スクリーンショット) Word確認テスト1とフィードバック  6 Word操作(図形描画、スマートアート)  7 PowerPoint操作(PowerPointの基本操作、レイアウトの利用) Word確認テスト2とフィードバック  8 PowerPoint操作(テキストの書式設定、グラフや図形の挿入、スライドマスターの利用)  9 PowerPoint確認テストとフィードバック 文書入力測定2  10 Excel操作(データ入力の手順、SUM関数)  11 Excel操作(グラフ作成、オートフィル、表の編集、AVERAGE関数)  12 Excel操作(条件の判定IF関数とネスト)  13 Excel操作(棒グラフ、円グラフ、折れ線グラフ、グラフの編集) Excel確認テスト1とフィードバック  14 Excel操作(複合グラフ、ドーナツグラフ、列の検索VLOOKUP関数) 文書入力測定3  15 Excel操作(条件付き書式、データベース入門、条件付き集計SUMIFS関数) Excel確認テスト2とフィードバック</p>						<p>山崎  //  //  //  //  //  //  //  //  //  //  //  //</p>
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>		
<p>30時間でマスター Word2019:実教出版(ISBN978-4-407-34836-1)  30時間でマスター PowerPoint2019:実教出版(ISBN978-4-407-34839-2)  30時間でマスター Excel2019:実教出版(ISBN978-4-407-34837-8)</p>				<p>1 Word小テスト2回30点 2 PowerPoint小テスト1回20点  3 文書入力テスト3回20点 4 Excel小テスト2回30点  合計100点満点</p>		
<b>留意事項</b>						
<p>1 各自USBメモリ(低容量で可)を用意すること。  2 配布データは復習用となるため、指示に従い講義時間外に操作練習すること。</p>						

教科名	英語コミュニケーション	時期	1年 後期	担当者	シマダ・レナーテ	実務・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">一般</span>
単位(時間数)	1 (20)	形態	講義		SIMADER Renate	
<b>概要</b> This course focuses on simple daily English conversation patterns with a correct pronunciation and intonation. The students will practice various patterns with a partner, memorize and present them in front of the class. Finally some basic dental-hygienist vocabulary is introduced and practiced in simple English conversation patterns.						
<b>到達目標</b> The objectives for this English-communication course are to make students more confident in speaking English and to become comfortable using their new skills in simple English-conversation protocols.						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>
1 Course orientation; make name-cards; written self-introduction by answering a question-sheet 2 Introduction to English stress and intonation. Useful vocabulary in the classroom. 3 Greetings and simple self-introduction patterns, memorize and present to the class.. 4 Interview: Question and Answers – look for a partner and practice. Prepare presentation. 5 Mid-term interview presentation (without looking at the text!) in front of the class. 6 Text: Making an Appointment by Phone: Read the text, go over new words, translate. 7 Questions on the text. Practise reading by repeating after me and then read it with a partner. 8 Text: Asking the Patient to Describe Symptoms: Read, go over new words, translate. 9 Questions on the text. Practise reading by repeating after me and then read it with a partner. 10 Final test – listening and written!						
<b>教本・参考図書</b> 教材配布				<b>評価方法</b> ・final hearing and written test (100%)		
<b>留意事項</b> ・辞書とノートは必ず用意する。(電子辞書や高校で使用したもので良いです) ・授業はコミュニケーション中心のため積極的に参加すること * Oral presentations have to be memorized BEFORE in-class presentation. * * According to the students' level, some adjustments might be made!						



教科名	英語コミュニケーション	時期	1年 後期	担当者	シマダ・レナーテ	実務・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">一般</span>
単位(時間数)	1 (20)	形態	講義		SIMADER Renate	
<b>概要</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・この授業は、まず正しい発音とイントネーションを含めた基本的な英会話を中心にします。学生達はペアで色々なパターンで練習したり、暗記してクラスの前でミニプレゼンテーションをします。後は、基本的な歯科衛生士に関する単語を用いた英会話をします。</li> </ul>						
<b>到達目標</b>						
1 学生が英語を話し、会話が自然に出来るようになる						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 コースオリエンテーション、ネームカードを作成、自己紹介に関する質問に英語で書いて答える</li> <li>2 英語における強勢と抑揚を紹介。クラスの中で使える便利なフレーズを覚える</li> <li>3 挨拶と自己紹介の基本的なパターンを覚えてミニプレゼンテーションする</li> <li>4 インタビュー: 質問と答え。ペアを探してプレゼンテーションを用意する。</li> <li>5 中間プレゼンテーション。クラスの前でペアでテキストなしに発表する ※</li> <li>6 テキスト: 「電話で予約する」テキストを読む、新しい単語を調べる、翻訳する</li> <li>7 テキストの内容に関する質問に答える、先生の後に繰り返してテキストを読む、ペアで読む練習</li> <li>8 テキスト: 「患者さんの症状について聞く」テキストを読む、新しい単語を調べる、翻訳する。</li> <li>9 テキストの内容に関する質問に答える。先生の後に繰り返してテキストを読む。ペアで読む練習。</li> <li>10 最終テスト: リスニングと筆記。</li> </ol>						
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>		
教材配布				<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスニングと筆記試験 (100%)</li> </ul>		
<b>留意事項</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・辞書とノートは必ず用意する。(電子辞書や高校で使用したもので良いです)</li> <li>・授業はコミュニケーション中心のため積極的に参加すること</li> <li>※ 中間プレゼンテーションは授業での発表の前にペアで暗記をしてください。</li> <li>** 学生さん達のレベルによってシラバスの変更の可能性あり。</li> </ul>						

教科名	心理学 I	時期	1年 前期	担当者	藤村 敦	実務・ <b>一般</b>
単位(時間数)	1 ( 20 )	形態	講義			
<b>概要</b>						
<p>歯科衛生士は、患者と良好な人間関係を築くことが重要である。また、職場内において医療スタッフとの人間関係を円滑にし、積極的に連携を図っていく姿勢も求められる。本講義では、心理学に関する主要な理論を学習し、人の様々な行動とその背景にある「こころ」について理解を深める。学習した様々な理論を臨床場面にどのように応用したらよいか、人間関係を築くために必要なスキルは何かなどについて考える演習を通し、他者理解、自己理解を広げるような講義とする。</p>						
<b>到達目標</b>						
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 知覚と行動、思考、記憶のメカニズムなどについて理解し、説明することができる。</li> <li>2. 学習、動機づけなどに関する主要な理論について理解し、説明できるとともに、臨床場面でどのような場面に応用可能なか自分なりの考えをもつことができる。</li> <li>3. パーソナリティ・知能について理解を深め、自分自身と関連づけて考えることができる。</li> <li>4. 人間関係づくりに必要なコミュニケーションスキルを習得する。</li> </ol>						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション(心理学とは?)、人間関係力を育む①(構成的グループエンカウンター)</li> <li>2. 心理学の歩みと研究法、見る・聴く・感じるこころ(知覚成立の基礎、知覚の体制化、知覚の諸相)</li> <li>3. 学ぶ・覚えるこころ①(学習のプロセス)、人間関係力を育む②(認知行動療法)</li> <li>4. 学ぶ・覚えるこころ②(記憶のメカニズム、記憶の病理とゆがみ)</li> <li>5. やる気の心理①(動機づけ、動機づけの分類)</li> <li>6. やる気の心理②(欲求)</li> <li>7. 喜怒哀楽のこころ(感情、フラストレーション、ストレス)、小テスト1回目</li> <li>8. その人らしさの心理(パーソナリティの記述、パーソナリティの調べ方、パーソナリティの異常と障害)</li> <li>9. 考えるこころ(思考、問題解決、創造性)、小テスト2回目</li> <li>10. かしこさの心理(知能、知能の測定、知的能力障害)</li> </ol>						
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>		
最新 歯科衛生士教本 心理学 医歯薬出版株式会社				授業内小テスト(40%)、授業内演習課題(60%)を基にして総合的に評価を行い、60点以上で合格とする。		
<b>留意事項</b>						
・教科書は、2年次の心理学Ⅱにおいても使用します。						

教科名	国語表現	時期	1年 前期	担当者	西谷 文子	実務・ <b>一般</b>
単位(時間数)	2 ( 30 )	形態	講義・演習			
<b>概要</b> 心豊かな人間性と信頼される歯科衛生士を目指し ①日本語が豊かに深く適切に使えることを学ぶ ②今後に生きて働くような授業内容を取り入れて、“話す” “聞く” “読み” “書く” の四項目を毎時間振りかえる (400字作文やスピーチ等)						
<b>到達目標</b> 1 毎時間の400字作文と筋道をたてた長文を書くことができる 2 まとまりがあり、説得力のあるスピーチができる 3 心豊かで、恥ずかしくない大人としての国語表現を身につける(俳句、漢字等)						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>
1 オリエンテーション・スピーチ・書写 (スピーチ要領・構造図・文字の書き方)						西谷
2 スピーチ・書写 (スピーチ原稿書き・段落・句読点)						〃
3 敬語 (正しい敬語の使い方)						〃
4 慣用句・ことわざ (慣用句・ことわざ入りの400字作文)						〃
5 表現力 (イメージマップづくり・俳句づくり)						〃
6 選句会 (自薦・他薦)						〃
7 手紙 (いろいろな手紙の書き方)						〃
8 手紙 (お礼の手紙)						〃
9 長文 (逆三角形の形式にあてはめて長文を書く)						〃
10 読解 (新聞記事・視写)						〃
11 読解 (新聞記事・まとめる・スピーチ)						〃
12 説明文 (小さい頃の写真等の説明文を書く)						〃
13 説明文 (友達に読んでもらい推敲文を書く)						〃
14 コミュニケーション術 (いろいろな引き出し・実際例)						〃
15 長文 (自分なりのテーマで400字以上の作文)						〃
<b>教本・参考図書</b> ・ 美しい日本語と正しい敬語 ・ だれでもできる10分間俳句 ・ 新聞記事				<b>評価方法</b> ・ 15回提出の400字作文(文字・文章の組み立て・内容等) (80点) ・ プリント提出・発表力・表現力・漢字・小テスト・スピーチ (20点) 合計 100点		
<b>留意事項</b> ・ 雑文字は減点対象になる (ひらがな、漢字) ・ 漢字テスト・スピーチを随時取り入れる ・ よりよく“話す” “聞く” “読む” “書く” の4つの要素を常に反省する						

教科名	解剖・生理	時期	1年 前期・後期	担当者	田村 堅吾	実務・一般 医師
単位(時間数)	3 (45)	形態	講義			
<b>概要</b>						
解剖学及び生理学は医学の中では基礎医学の一つとして最も基本的な学問であると同時に、医療関係に従事する場合には必ず学ばなければならない科目である。解剖学は正常状態における人体各部の形態及び構造を、また生理学ではそれらの機能を対象としている。さらに解剖学の一分野として組織学と発生学があり、これらを学ぶことにより各組織の微細な構造や人体発生の過程、遺伝情報及び、その成り立ちを理解することが可能になる。歯を含めた口腔内変化と内臓諸器官の機能上の変化や異常との関連がしばしば認められ、これらを検討、理解する上で解剖学や生理学に関わる知識は特に必要となる。						
<b>到達目標</b>						
教科書の各章の冒頭に掲げられているが、これらのうちで特に重要な項目についての理解ができる						
計画・(内容)						担当
1 組織と発生 ①						田村
〔細胞の構造と機能(特に細胞膜及び細胞内小器官について)						
〔細胞分裂と細胞の寿命について						
2 組織と発生 ②						〃
人体を構成する組織及びそれらの構造・機能上の特徴について						
3 組織と発生 ③						〃
〔精子・卵子の発生と減数分裂						
〔染色体、核酸(DNA,RNA)と遺伝情報について						
4 組織と発生 ④						〃
〔受精、着床及び受精卵分裂と胚葉形成について						
〔胎児の成長と器官の発生について						
5 骨格系 ①						〃
骨の生理的機能について						
6 骨格系 ②						〃
身体各部(頭部を除く)の存在する骨の形態とそれらの連結様式について						
7 筋系 ①						〃
身体各部の筋(筋群)の働きについて(特に呼吸筋・心筋・顔面筋や咀嚼筋について)						
8 筋系 ②						〃
筋の微細構造と収縮との関わりについて						
9 消化・吸収 ①						〃
消化管及び、消化腺の経路及び基本構造						
10 消化・吸収 ②						〃
消化器系各部における消化と吸収について						
11 循環系						〃
〔体循環と肺循環について						
〔心臓及び血管系の構造・機能について						
〔血圧、心電図について						
12 血液						〃
〔血液の機能						
〔血液の成分及び各々の成分の機能						
〔血液凝固、出血性素因について						
〔血液型、輸血について						
〔リンパ系について						
13 神経系 ①						〃
神経系の分類と、その構成・機能について(特に中枢神経と体性神経・自律神経の役割とその違いについて)						
14 神経系 ②						〃
神経細胞の興奮とその伝導について						
15 呼吸 ①						〃
〔呼吸器系の構造と機能について						
〔呼吸運動と換気の仕組みについて						
16 呼吸 ②						〃
〔O <sub>2</sub> とCO <sub>2</sub> の運搬について						
〔肺気量、換気量及び呼吸の調節について						
17 感覚 ①						〃
〔感覚の分類と一般的性質について						
〔皮膚と粘膜の構造と感覚装置について						

計画・(内容)	担当
<p>18 感覚 ② 特殊感覚器とよばれる器官の種類と概要</p> <p>19 排泄 ① 〔 排便の機序 〔 発汗及び汗腺について</p> <p>20 排泄 ② 〔 排尿の意義 〔 排尿器(泌尿器)の経路と腎における尿生成過程</p> <p>21 体温 〔 体温の産生とその調節・変動について 〔 エネルギー代謝について</p> <p>22 内分泌 〔 内分泌と外分泌の相違点について 〔 内分泌器官の種類とそれぞれから分泌されるホルモンの作用について 〔 血糖値やカルシウム濃度の調節に関わるホルモンについて</p> <p>23 生殖 〔 男性生殖器及び女性生殖器の構造の概要 〔 男性生殖器の機能 〔 女性生殖器にみられる性周期(子宮周期と卵巣周期)について 〔 妊娠と分娩について</p>	<p>田 村</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
<p><b>教本・参考図書</b> 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学</p>	<p><b>評価方法</b>  筆記試験(100%)</p>
<p><b>留意事項</b></p>	



教科名	口腔組織	時期	1年 前期	担当者	京田 直人	実務・一般 歯科医師
単位(時間数)	1 ( 15 )	形態	講義			
<b>概要</b> 歯科衛生士として治療の対象となる組織の構造と機能を学ぶ。						
<b>到達目標</b> 1 歯科臨床の基礎となる歯・歯周組織の構造がわかる 2 学んだ知識と歯科臨床が直結してイメージできる						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>
1 顔面と口腔の発生 (歯や歯周組織の元はどこから現れるか)						京田
2 顔面と口腔の発生 (顔面、口腔の異常はどのように起きるか)						〃
3 歯と歯周組織の発生 (歯提と歯胚の形成)						〃
4 歯と歯周組織の発生 (鍾状期の歯胚)						〃
5 歯および歯周組織の構造と機能 (エナメル質)						〃
6 歯および歯周組織の構造と機能 (象牙質・歯髄複合体)						〃
7 歯および歯周組織の構造と機能 (セメント質、歯根膜、歯槽骨)						〃
8 歯および歯周組織の構造と機能 (歯肉、口腔粘膜)						〃
<b>教本・参考図書</b> 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学				<b>評価方法</b> 筆記試験 100点		
<b>留意事項</b>						

教科名	口腔生化学	時期	1年 後期	担当者	鍋谷 大史	実務・一般 歯科医師												
単位(時間数)	1 (15)	形態	講義															
<b>概要</b>																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主たる口腔の組織は結合組織である。歯の構成成分を学びエナメル質、象牙質、骨、歯の石灰化などについて学ぶ。</li> <li>・脱灰・再石灰化、唾液の組成や作用を学ぶ。プラーク・ペリクル・歯石について学び、プラークコントロールの重要性を理解する。</li> <li>・う蝕や歯周疾患の機序を学び、その対策や生体防御機構について学ぶ。</li> <li>・う蝕の原因の一つである糖について、また代用甘味料について学ぶ。</li> <li>・カルシウム・リン酸イオンの生体内での状態を学び、脱灰、再石灰化にどのようにかかわっているのか学ぶ。</li> </ul>																		
<b>到達目標</b>																		
<table border="0"> <tr> <td>1 結合組織の組成と機能を説明できる</td> <td>7 歯の脱灰と再石灰化を説明できる</td> </tr> <tr> <td>2 歯の無機成分を説明できる</td> <td>8 唾液の無機成分と有機成分の種類を述べる</td> </tr> <tr> <td>3 歯の有機成分を説明できる</td> <td>9 唾液の無機成分の作用を説明できる</td> </tr> <tr> <td>4 血清中のカルシウムとリン酸の濃度が説明できる</td> <td>10 唾液の有機成分の作用を説明できる</td> </tr> <tr> <td>5 歯と骨の石灰化を説明できる</td> <td>11 う蝕におけるデンタルプラークの関りを説明できる</td> </tr> <tr> <td>6 血清カルシウム調節を説明できる</td> <td>12 歯周疾患におけるデンタルプラークの関りを説明できる</td> </tr> </table>							1 結合組織の組成と機能を説明できる	7 歯の脱灰と再石灰化を説明できる	2 歯の無機成分を説明できる	8 唾液の無機成分と有機成分の種類を述べる	3 歯の有機成分を説明できる	9 唾液の無機成分の作用を説明できる	4 血清中のカルシウムとリン酸の濃度が説明できる	10 唾液の有機成分の作用を説明できる	5 歯と骨の石灰化を説明できる	11 う蝕におけるデンタルプラークの関りを説明できる	6 血清カルシウム調節を説明できる	12 歯周疾患におけるデンタルプラークの関りを説明できる
1 結合組織の組成と機能を説明できる	7 歯の脱灰と再石灰化を説明できる																	
2 歯の無機成分を説明できる	8 唾液の無機成分と有機成分の種類を述べる																	
3 歯の有機成分を説明できる	9 唾液の無機成分の作用を説明できる																	
4 血清中のカルシウムとリン酸の濃度が説明できる	10 唾液の有機成分の作用を説明できる																	
5 歯と骨の石灰化を説明できる	11 う蝕におけるデンタルプラークの関りを説明できる																	
6 血清カルシウム調節を説明できる	12 歯周疾患におけるデンタルプラークの関りを説明できる																	
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>												
1 歯と歯周組織の概論 結合組織(結合組織の組成と機能・プロテオグリカン・コラーゲン合成)						鍋谷												
2 歯の組成(歯の無機成分・有機成分)						〃												
3 硬組織の生化学(血清中のカルシウムとリン酸・石灰化の仕組み・歯と骨の石灰化の仕組みの違い)						〃												
4 骨の生成と吸収・歯の脱灰と再石灰化(骨芽細胞と破骨細胞・血清カルシウム調節ホルモン)						〃												
5 唾液の生化学概論(唾液の組成と機能)						〃												
6 唾液の無機質・有機質(それぞれの組成と機能)						〃												
7 プラークの生化学概論(プラークの生物活性と種類・プラークの形成・バイオフィルム・う蝕発生機構)						〃												
8 プラークによる口臭発生機構・歯周疾患発生機構(細菌活性・生体防御機構と炎症反応)						〃												
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>														
最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能2 栄養と代謝				筆記試験 100点														
<b>留意事項</b>																		
配布されたプリント及び参考資料・復習問題は予習復習となるため、指示に従い講義時間外に必ず行うこと プリントの課題や提出は期日を厳守すること																		



教科名	口腔解剖	時期	1年 前期	担当者	加藤 元康	実務・一般 歯科医師
単位(時間数)	2 ( 30 )	形態	講義		岩井 祐司	実務・一般 歯科医師
<b>概要</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>口腔解剖学は歯科臨床における基礎であるため、頭部および顔面部の骨、筋及び神経等の解剖学的知識を習得する。さらに単に構造だけでなく機能を理解することを目的とする。(加藤)</li> <li>口腔付近の動脈、静脈、リンパ節、神経のつながりを学ぶ。(岩井)</li> </ul>						
<b>到達目標</b>						
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 頭部、顔面部および口腔の解剖学的名称がわかる。(加藤)</li> <li>2 頭部、顔面部ならびに口腔を構成する骨と筋の名称およびそれらの機能について理解する。(加藤)</li> <li>3 脳神経12対のうち、頭部・顔面部および口腔に関わる神経の名称および走行、さらに機能について説明できる。(加藤)</li> <li>4 全身の関節の中でも特殊な顎関節の構造および機能について説明できる。(加藤)</li> <li>5 頭頸部の動脈、静脈を説明できる。(岩井)</li> <li>6 頭頸部のリンパ節のつながりを説明できる。(岩井)</li> <li>7 頭頸部の神経のつながりを説明できる。(岩井)</li> </ol>						
計画・(内容)						担当
1 頭蓋・顔面、特に口腔内を詳細に解剖学的名称を学ぶ。						加藤
2 頭蓋骨・顔面骨についてシェーデルを用い、構造を学ぶ。						〃
3 頭蓋骨・顔面骨特に口腔の発生について学ぶ						〃
4 口腔を構成する骨についてシェーデルを用い、構造および機能を学ぶ。						〃
5 頭蓋・顔面、特に顎関節においては、骨に付着する筋およびその機能に関わる神経走行について学ぶ。						〃
6 心臓(口腔付近に分布する脈管系)						岩井
7 神経に関して以下の項目について学ぶ						加藤
①脳神経12対						
8 動脈(総頸動脈・内頸動脈・外頸動脈・舌動脈・顔面動脈・後頭動脈・後耳介動脈・浅側頭動脈・顎動脈)						岩井
9 静脈(頭頸部の動脈と静脈の違い・頭頸部の主な枝)						岩井
10 ②知覚神経						加藤
③運動神経						
④特殊神経(涙腺分泌・唾液分泌・味覚)						
⑤以上の神経と中枢からの走行および筋および臓器機関への分布						
11 リンパ(頭部のリンパ節・頸部のリンパ節・扁桃)						岩井
12 神経①(脳神経・自律神経)						〃
13 神経②(三叉神経)						〃
14 神経③(顔面神経)						〃
15 神経④(舌咽・舌下神経)						〃
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>		
最新歯科衛生士教本				・筆記試験(45点)小テスト6回(5点)計50点【加藤】		
口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学				・筆記試験(40点)小テスト5回(10点)計50点【岩井】		
				合計100点		
<b>留意事項</b>						

教科名	歯牙解剖	時期	1年 前期	担当者	澤木 淳	実務・一般 歯科医師
単位(時間数)	1 ( 15 )	形態	講義		渡邊 佳子	実務・一般 歯科衛生士
<b>概要</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>歯の記号や表示法について学ぶ。</li> <li>乳歯・永久歯の個々の歯牙の特徴を理解し、歯種の鑑別ができるようになる。</li> </ul>						
<b>到達目標</b>						
1 歯の表示法や記号について説明できる(澤木・渡邊)      5 歯の形態を歯種別に説明できる(澤木・渡邊) 2 歯種を鑑別できる(澤木・渡邊)                              6 歯の形態異常について説明できる(澤木・渡邊) 3 歯の萌出順について説明できる(澤木) 4 歯列と咬合について説明できる(澤木)						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>
1 総論 (歯の種類と数・歯式・名称・用語) 2 上顎・下顎前歯部 (形態・特徴) 3 上顎・下顎小臼歯 (形態・特徴) 4 上顎・下顎大臼歯 (形態・特徴) 5 乳歯 (形態・特徴) 6 歯の形態異常 (特色のある歯の形態・歯列と咬合) 7 乳歯・永久歯 (形態・特徴) 8                    "						澤 木 " " " " 渡 邊 "
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>		
最新歯科衛生士教本 口腔解剖・口腔組織発生学・口腔生理学				・筆記試験 (60点)      【澤木】 ・筆記試験 (40点)      【渡邊】 合計 100点		
<b>留意事項</b>						
・毎回、前回の復習事項を口頭試問します。予習復習を欠かさない事。(澤木)						

教科名	口腔生理	時期	1年 後期	担当者	深瀬 寛也	実務・一般	歯科医師
単位(時間数)	1 (15)	形態	講義				
<b>概要</b> 口腔生理学は、歯・咀嚼・唾液分泌・味覚・口腔感覚・発生の生理について、そのメカニズムを明らかにすることを目的とした生理学であり、口腔・顎・顔面などの諸器官の機能を健全に維持するため、また、これらの諸器官の機能障害を予防治療するうえで基礎となる学問である。							
<b>到達目標</b> 1 口腔生理学により正常な生活機能を把握し、今後学習する病態理解のための基礎を理解する 2 口腔生理学を日常臨床に応用できるよう理解する							
<b>計画・(内容)</b>							<b>担当</b>
1 口腔生理学とは(必要性和歯・歯周組織の生理)							深瀬
2 歯と口腔の感覚・咬合と咀嚼・吸啜(歯の動揺度、歯間離開度・下顎位)							〃
3 下顎の運動・限界運動(顎関節の特徴、限界運動および咀嚼筋の働き)							〃
4 顎反射(定義および意義、閉口反射と開口反射)							〃
5 嚥下と嘔吐(咽頭の構造)、口呼吸・口臭(口腔粘膜の感覚)							〃
6 味覚と唾液(味覚の役割り・唾液腺、分泌機構、性状・成分と機能)							〃
7 唾液と疾患・発声(う蝕症、粘膜・歯周疾患)							〃
8 発声(発声機構の概要・声の生成・言語音の形成、歯・口腔の病態と発音)							〃
<b>教本・参考図書</b> 最新歯科衛生教本 口腔解剖学・口腔組織学・口腔生理学				<b>評価方法</b> 筆記試験(100点)			
<b>留意事項</b>							

教科名	病理学	時期	1年 後期	担当者	富樫 信	実務・一般 臨床検査技師
単位(時間数)	2 ( 30 )	形態	講義		勝又 謙	実務・一般 歯科医師
<b>概要</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>病理学は病気の原因、進展および転帰を明らかにし、病気の予防や治療の基礎となる知見を統合する学問である。病理学の講義を通じて病理学総論を理解し、臨床の場での確に対応するための基本的知識を習得する。(富樫)</li> <li>口腔領域の歯牙及び歯周組織に生じる様々な疫病の原因・経過を理解し、それらの病気の本態を究明する。(勝又)</li> </ul>						
<b>到達目標</b>						
<ol style="list-style-type: none"> <li>種々発生する疾病や病的状態の原因、発生機序、進展および転帰を学び、病理学の基本的知識を習得できる。(富樫)</li> <li>口腔病変の診断・治療の知識を理解し臨床にて適切な指導・処置を行うための基礎知識を習得する。(勝又)</li> </ol>						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>
1 病理学序論と病因論(疾病の概念、病因と病態に関する知識を習得する)						富 樫
2 遺伝性疾患と奇形 (各遺伝性疾患を学び、奇形の原因や発生機序を学ぶ)						〃
3 循環障害 (充血とうっ血の違いを学び、虚血、出血の原因、血栓や塞栓の形成機序、梗塞の成因を学ぶ)						〃
4 代謝障害と退行性病変 (細胞・組織の変性、萎縮、壊死を学び、アポトーシスとネクロシスの違いを習得)						〃
5 増殖と修復 (肥大、増生、化生、再生について学び、創傷の治癒過程を学ぶ)						〃
6 炎症と免疫応答異常(炎症の病因を学び、免疫やアレルギーについて学ぶ)						〃
7 腫瘍 (腫瘍の定義を学び、良性腫瘍と悪性腫瘍の違い、腫瘍の種類や発育、浸潤、転移を学ぶ)						〃
8 口腔病理とは・歯の発育異常(概論・歯の発育異常の種類と好発部位)						勝 又
9 歯の損傷と着色・沈着物(分類と組織像)						〃
10 う蝕(う蝕の疫学、発生、分類、組織像)						〃
11 象牙質・歯髄複合体の病態(歯髄炎の原因、分類、病理像)						〃
12 歯周組織の病態(歯周組織の病態と成り立ち)						〃
13 口腔粘膜の病変、唾液腺の病変(口腔粘膜、唾液腺の種類と原因)						〃
14 口腔領域の腫瘍、口腔癌、口腔組織の変化(腫瘍、口腔癌の定義と分類)						〃
15 口腔領域の奇形と嚢胞、顎骨の病変、口腔組織の加齢変化 (各腫瘍の定義と分類、口腔癌の定義と分類、歯周組織の加齢変化)						〃
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>		
最新歯科衛生士教本 病理学・口腔病理学				筆記試験 (50点) 【富樫】		
病理学”よくわかる”専門基礎講座 高橋徹				筆記試験 (50点) 【勝又】		
口腔病変の組織診断 山本浩嗣・武田泰典				合計 100点		
<b>留意事項</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業終了前に確認問題を提示し、知識の整理や要点を確認し習得の効率化を図る。確認問題は繰り返し行い、知識を身につけるよう努めること。(富樫)</li> <li>前回の授業の復習問題を行い、理解度の確認をする。(勝又)</li> </ul>						

教科名	微生物学	時期	1年 後期	担当者	澤辺 桃子	実務・一般
単位(時間数)	2 ( 30 )	形態	講義		鍵谷 毅	実務・一般 歯科医師
<b>概要</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>口腔疾患の多くが微生物を原因とする感染症であることから、これらを学ぶ前段階として、微生物が身近な存在であることを実感し、微生物の基本的性状を理解するとともに、病原微生物の病態、感染と発症のメカニズム、化学療法の原理、生体防御機構を学ぶ。(澤辺)</li> <li>口腔二大疾患である齲蝕症と歯周病は口腔内微生物による感染症であるが、それらの疾患が口腔という特殊な環境の中で如何にして発症してくるのかを理解する。さらに、口腔感染症と全身疾患との関わりを知ることにより、口腔の健康の大切さを学ぶ。(鍵谷)</li> </ul>						
<b>到達目標</b>						
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 微生物の種類や具体的名称を列挙し、各々の基本的性状を説明できる(澤辺)</li> <li>2 微生物の病原性を把握し、感染と発症のメカニズム、宿主の抵抗性、化学療法の原理を説明できる(澤辺)</li> <li>3 生体防御機構である免疫の基本的知識とワクチン及びアレルギーについて説明できる(澤辺)</li> <li>4 歯科衛生士業務としての予防処置、口腔衛生指導及び院内感染予防のためのスタンダードプレコーションの実践に必要な基礎知識がわかる(鍵谷)</li> </ol>						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>
1 疾患と微生物 (微生物とは何か、微生物の種類と発見の歴史を学び、身の回りの微生物の培養をおこなう)						澤 辺
2 微生物の基本的性状、細菌培養と顕微鏡観察 (微生物の基本的性状、細菌培養の種類と観察方法、顕微鏡の種類について学ぶ)						〃
3 化学療法 (微生物の基本的性状と化学療法薬との関係性を理解し、使用目的とその原理を学ぶ)						〃
4 感染の種類と経路、滅菌・消毒方法 (微生物の種類と状況による感染経路と発症過程、感染防止に必要な滅菌と消毒の種類とその原理を学ぶ)						〃
5 微生物の病原性(1)病原性細菌の種類と病原性 (細菌がもつ病原性について把握し、各病原性細菌の特徴を学ぶ)						〃
6 微生物の病原性(2)ウイルスとその他の微生物の種類と病原性 (ウイルスやその他の微生物がもつ病原性について把握し、各微生物の特徴を学ぶ)						〃
7 宿主防御機構 (宿主の抵抗性を理解し、免疫の種類、免疫担当細胞の種類と役割、抗原と抗体、サイトカインについて学ぶ)						〃
8 免疫機構とアレルギー (免疫反応を利用した検査法、ワクチン、アレルギーについて学ぶ)						〃
9 口腔細菌叢 (成り立ちと遷移、部位別細菌叢)						鍵 谷
10 バイオフィルムとしてのプラーク (プラークの形成機序)						〃
11 バイオフィルムとしてのプラーク、口腔感染症 (齲蝕)						〃
12 口腔感染症 (歯肉感染症、歯周病)						〃
13 口腔感染症 (歯周病) その他の口腔感染症 (唾液腺の感染症)						〃
14 その他の口腔感染症、口腔外感染症と院内感染症対策 (カンジタ症等)						〃
15 院内感染対策と滅菌消毒 (滅菌消毒法)						〃
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>		
最新歯科衛生士教本				・ 筆記試験 50点 【澤辺】		
疾病の成り立ち及び回復過程の促進2微生物学				・ 筆記試験30点 小テスト20点 【鍵谷】		
				合計 100点		
<b>留意事項</b>						
・ 復習および予習となつ問題プリントを配布するので、講義時間外に各自で解答しておくこと (澤辺)						

教科名	保健生態学 I	時期	1年 前期	担当者	奥 ひろみ	実務・一般 歯科衛生士
単位(時間数)	2 ( 30 )	形態	講義			
<b>概要</b>						
<p>保健生態学は、衛生学・公衆衛生学および口腔衛生学を一連のものとして捕らえた学問です。その内容は3編に分割して、Ⅰ編『健康を左右する環境』、Ⅱ編『歯・口腔の健康と予防』、Ⅲ編『健康に関わる地域の役割』となっております。この授業では、Ⅱ編『歯・口腔の健康と予防』について学びます。内容は人々の歯、口腔の健康と歯科疾患の予防に関わるセルフケア能力を高めるために、指導的役割となる歯科衛生士として必要な知識を整理する。また、予防歯科の概念と歯科疾患の予防、ライフステージごとの口腔管理について導入的に学びます。</p> <p>なお、第2. 4. 5. 6章については、『口腔保健管理』の授業にて学ぶ。</p>						
<b>到達目標</b>						
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 口腔の健康の定義を説明できる</li> <li>2. 歯・口腔の健康保持増進する手段について概説できる</li> <li>3. 歯・口腔の機能について説明できる</li> <li>4. 口腔と全身の健康との関連について説明できる</li> </ol>						
<b>計画・(内容)</b>						
<p>《 Ⅱ編 歯・口腔の健康と予防 》</p> <p>第1章 総論</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 『歯・口腔の健康と予防』の定義、基礎、方法 (第1～第3次の予防水準を中心に学ぶ)</li> <li>2. 『歯・口腔の健康と予防』と健康づくり (WHO口腔保健や8020運動、健康日本21等を簡単に紹介する)</li> <li>3. 歯・口腔の構造について (歯、歯周組織、口腔粘膜、舌、顎関節の順に学ぶ)</li> <li>4. 唾液腺について (種類、分泌、性状・成分、機能について学ぶ)</li> <li>5. 歯・口腔の発生、成長、発育について (歯や顎と歯列咬合について、必要な栄養素やホルモンを学ぶ)</li> <li>6. 歯・口腔の形成異常について (歯の数や形態、色、位置や咬合について正常像との比較をしながら学ぶ)</li> <li>7. 歯・口腔の機能について (咀嚼と嚥下、味覚や発音を学ぶ。また、歯科疾患と全身の健康との関連を学ぶ)</li> </ol> <p>第3章 歯科疾患の疫学</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>8. 歯科疾患の疫学的特性 (う蝕、歯周疾患、不正咬合、顎関節症、口腔癌、粘膜疾患)</li> </ol> <p>第7章 その他の疾患、異常の予防</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>9. 口内炎、口腔癌、不正咬合、顎関節症、歯の形成不全 (それぞれ分類や実態、要因と予防について学ぶ)</li> <li>10. 口臭症、口腔乾燥症 (それぞれ分類や実態、要因と予防について学ぶ)</li> </ol> <p>第8章 ライフステージごとの口腔保健管理</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>11. 妊産婦期 (妊産婦自身の口腔保健管理について、食生活の変化や女性ホルモンによる影響などを学ぶ)</li> <li>12. 乳幼児期 (無歯期から乳歯列期にかけて、口腔機能の発達に伴う口腔清掃や離乳など重要な要点を学ぶ)</li> <li>13. 小児期 (学齢期では永久歯へ生えかわりに際しう蝕の感受性が高まることにたいする保健管理を学ぶ) (思春期からは歯周疾患の予防と永久歯咬合の育成について学ぶ)</li> <li>14. 成人期 (歯周疾患と口腔軟組織の保健管理を学ぶ)</li> <li>15. 老年期 (残存歯の管理と、口腔乾燥症にたいする保健管理を学ぶ)</li> </ol>						
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>		
医歯薬出版社 保健生態学				筆記試験1回 80%、小テスト2回 20%		
<b>留意事項</b>						
<p>グループディスカッションの際には、積極的に参加すること 授業の始めに前回の復習問題、授業の終わりに今回の確認問題をそれぞれ行いますが、筆記試験や小テストにも関連するので重要です。</p>						

教科名	歯科衛生学総論	時期	1年 前期	担当者	澤谷 幸絵	実務・一般 歯科衛生士
単位(時間数)	1 ( 15 )	形態	講義			
<b>概要</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科衛生業務を実践し、健康寿命の延伸及び各世代の人々の健康づくり、また地域包括ケアに寄与できる保健医療人としての基本的態度を理解する。</li> <li>・ 歯科衛生士として必要な知識、技術を習得する態度、および論理的思考法の基礎を習得する。</li> </ul>						
<b>到達目標</b>						
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 歯科衛生学、歯科衛生業務を説明できる。</li> <li>2 歯科衛生の実践が倫理的であるべき理由、患者、家族と医療者双方の権利と義務を説明できる。</li> <li>3 歯科衛生業務におけるコミュニケーションの必要性、多職種との連携の意義を説明できる。</li> </ol>						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>
1 歯科衛生士とは。必要な資質、望まれる歯科衛生士像。 (今後3年間で身につけたいスキル、心がまえ、希望や夢などグループワークで話し合う)						澤谷
2【1章】 歯科衛生学とは (活動の対象、ライフステージごとの関わりについて。健康の考え方)						〃
【2章】 歯科衛生士の歴史 (歯科衛生士の誕生の経緯を知り、業務の発展を学び歯科衛生士という職業を明確にする)						〃
3【3章】 歯科衛生活動のための理論 (第1次予防から第3次予防を学ぶ)						〃
4【5章】 歯科衛生士法と歯科衛生業務 (法律に基づく業務の理解と関連法規を学ぶ)						〃
5【6章】 歯科衛生士と医療倫理 (歯科衛生士の倫理綱領を用いて医の倫理を学ぶ)						〃
6【7章】 歯科衛生士の活動と組織 (歯科衛生活動の領域や健康増進戦略の概要を学ぶ)						〃
7【8章】 海外における歯科衛生士(日本との違いを知る)						〃
8 まとめと理想とする歯科衛生士について						〃
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最新 歯科衛生士教本 歯科衛生学総論</li> <li>・ 公益社団法人日本衛生士会 歯科衛生士の倫理綱領</li> </ul>				筆記試験 100点		
<b>留意事項</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業内で確認問題を行う</li> <li>・ プリントの課題や提出物は期限を厳守すること</li> </ul>						



教科名	保存修復	時期	1年 後期	担当者	吉村 圭司	実務・一般 歯科医師
単位(時間数)	1 ( 20 )	形態	講義		鈴木 均史	実務・一般 歯科医師
<b>概要</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科保存修復学の歯科医学における位置づけを理解し、歯を健全な状態で保存するための、歯科保存修復学の役割を学ぶ。(吉村)</li> <li>・ 保存修復の種類・材料および使用器具について学習する。(鈴木)</li> <li>・ 保存修復における直接修復と間接修復を学習する。(鈴木)</li> </ul>						
<b>到達目標</b>						
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 窩洞の構成と名称、分類と窩洞形態の原則を説明できる (吉村)</li> <li>2 修復法の種類と特徴を説明できる (吉村)</li> <li>3 MIDを説明できる (吉村)</li> <li>4 保存処置に使用する器材の概要を説明できる (鈴木)</li> <li>5 修復法の種類(直接修復・間接修復)と特徴を説明できる (鈴木)</li> <li>6 歯の切削器機・器具の種類と特徴を説明できる (鈴木)</li> </ol>						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>
1 総論 (保存修復学の位置づけ)						吉村
2 窩洞と保存修復治療 (窩洞の構成と名称・分類)						〃
3 保存修復治療の概要 (修復処置の流れ)						〃
4 直接法修復① (コンポジットレジン修復)						〃
5 直接法修復② (セメント修復)						〃
6 セメント修復について (復習)						鈴木
7 間接法修復 (メタルインレー修復・アンレー修復)						〃
8 〃 (セラミックインレー修復・コンポジットレジンインレー修復)						〃
9 〃 (ベニア修復)						〃
10 〃 (合着材および接着剤)						〃
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>		
最新歯科衛生士教本 歯の硬組織・歯髄疾患 保尊修復・歯内療法				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 筆記試験(40点)小テスト(10点) 計50点</li> <li>・ 筆記試験(40点)小テスト(10点) 計50点</li> </ul>		
				合計 100点		
<b>留意事項</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業は集中し意欲を持って取り組むこと (吉村)</li> <li>・ 参考資料(冊子)を配布しますので、必ず持参すること (鈴木)</li> <li>・ 各項目について、教科書、参考資料、ビデオ、スライド等を使い学習する (鈴木)</li> <li>・ 復習として小テストを行い、さらに理解度を高める (鈴木)</li> </ul>						



教科名	歯内療法	時期	1年 後期	担当者	岩井 宏之	実務・一般 歯科医師												
単位(時間数)	1 ( 20 )	形態	講義		福田 幹久	実務・一般 歯科医師												
<b>概要</b>																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯髄疾患および根尖性歯周組織疾患の分類、それぞれの原因と治療方法を理解する。(岩井)</li> <li>・ 歯科衛生士として歯内療法治療に必要な診査・診断・治療内容・器材・薬剤の知識を習得する。(岩井)</li> <li>・ 歯科臨床において、日常的に行われる歯内療法に携わる上で、その処置、器具、薬剤の使用目的、必要性を理解する。(福田)</li> </ul>																		
<b>到達目標</b>																		
<table border="0"> <tr> <td>1 象牙質知覚過敏症の症状と原因・処置法を説明できる (岩井)</td> <td>5 抜髄処置と感染根管処置の分類ができる (福田)</td> </tr> <tr> <td>2 歯髄疾患・根尖性歯周組織疾患の分類と症状、治療法を説明できる (岩井)</td> <td>6 根管形成法を理解できる (福田)</td> </tr> <tr> <td>3 歯髄の保存療法と除痛療法を説明できる (岩井)</td> <td>7 種々の根管充填を理解できる (福田)</td> </tr> <tr> <td>4 治療対象となる根管の分別ができる (福田)</td> <td>8 根未完成歯の歯内療法を理解できる (福田)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>9 種々の外科的歯内療法を理解できる (福田)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10 歯の外傷、偶発症への対応を理解できる (福田)</td> </tr> </table>							1 象牙質知覚過敏症の症状と原因・処置法を説明できる (岩井)	5 抜髄処置と感染根管処置の分類ができる (福田)	2 歯髄疾患・根尖性歯周組織疾患の分類と症状、治療法を説明できる (岩井)	6 根管形成法を理解できる (福田)	3 歯髄の保存療法と除痛療法を説明できる (岩井)	7 種々の根管充填を理解できる (福田)	4 治療対象となる根管の分別ができる (福田)	8 根未完成歯の歯内療法を理解できる (福田)		9 種々の外科的歯内療法を理解できる (福田)		10 歯の外傷、偶発症への対応を理解できる (福田)
1 象牙質知覚過敏症の症状と原因・処置法を説明できる (岩井)	5 抜髄処置と感染根管処置の分類ができる (福田)																	
2 歯髄疾患・根尖性歯周組織疾患の分類と症状、治療法を説明できる (岩井)	6 根管形成法を理解できる (福田)																	
3 歯髄の保存療法と除痛療法を説明できる (岩井)	7 種々の根管充填を理解できる (福田)																	
4 治療対象となる根管の分別ができる (福田)	8 根未完成歯の歯内療法を理解できる (福田)																	
	9 種々の外科的歯内療法を理解できる (福田)																	
	10 歯の外傷、偶発症への対応を理解できる (福田)																	
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>												
1 歯内療法の概要 (歯内療法の目的・主な疾患の概要と原因)						岩井												
2 歯髄疾患・根尖性歯周組織疾患の分類・症状・処置(1)						〃												
3 歯髄疾患・根尖性歯周組織疾患の分類・症状・処置(2)						〃												
4 歯髄保存療法 (歯髄鎮痛消炎療法・覆髄法)						〃												
5 歯髄の除去療法 (歯髄切断法・抜髄法)						〃												
6 根管治療の術式について (準備、根管口明示、歯種と根管の構造)						福田												
7 根管形成の実際について (根管形成、拡大、貼薬、仮封)						〃												
8 根管充填の実際について (種々の充填法、使用器具、特徴)						〃												
9 根未完成歯の歯内療法の実際 (アペキソゲネーシス、アペキシフィケーション)						〃												
10 ・外科的歯内療法の実際 (種々の外科術式、適応、臨床例)						〃												
・外傷及び偶発症への対応																		
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>														
最新歯科衛生士教本				・筆記試験 50点 【岩井】														
歯の硬組織・歯髄疾患・保存修復・歯内療法				・筆記試験 50点 【福田】														
				合計 100点														
<b>留意事項</b>																		
毎回、配布するプリントを熟読し理解を深めること (岩井)																		

教科名	歯周疾患	時期	1年 後期	担当者	光銭 裕太	実務・一般	歯科医師
単位(時間数)	1 (30)	形態	講義		石塚 弘樹	実務・一般	歯科医師
<b>概要</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>歯周疾患の基礎的内容(総論、歯周組織の解剖と機能、歯周治療)について理解し、歯科衛生士業務を行うために必要な歯周組織に生じる疾患の種類、症状、診断法および治療法について学ぶ。(光銭)</li> <li>歯周疾患はう蝕とともに歯を失う2大疾患といわれ、その予防と治療は歯科衛生士の仕事として極めて重要である。歯周病への理解を深め、歯科衛生士として必要な予防と治療の知識を習得する。(石塚)</li> </ul>							
<b>到達目標</b>							
<ol style="list-style-type: none"> <li>臨床に携わる前に知っておくべき歯周病の知識を習得する(光銭)</li> <li>歯周病の種類と症状を説明できる(光銭)</li> <li>歯周病進行の流れを説明できる(光銭)</li> <li>歯周病の検査法と検査結果を説明できる(光銭)</li> <li>歯周初期治療の術式と適応症を説明できる(光銭)</li> <li>歯周外科からメンテナンスまでの目的や術式、使用器具がわかり、歯周治療における歯科衛生士の役割が理解できる(石塚)</li> <li>歯周疾患と全身疾患の関連性を説明できる(石塚)</li> </ol>							
<b>計画・(内容)</b>							<b>担当</b>
1 歯周治療とは (総論)							光 銭
2 正常な歯周組織の構造と機能 (歯周組織、歯周組織と咬合、審美性の維持、歯周組織と加齢変化)							〃
3 歯周病の原因 (細菌因子、宿主因子、環境因子)							〃
4 歯周病の分類 (歯肉病変、各歯周炎、咬合性外傷)							〃
5 歯周治療の進め方 (歯周病の予防と歯周治療の基本)							〃
6 歯周病の診査 (主訴を中心とした一般診査・歯周組織破壊程度の診査・原因となる因子の診査)							〃
7 歯周基本治療① (歯周基本治療の目的・効果)							〃
8 歯周基本治療② (歯周基本治療の内容と実際・薬物療法)							〃
9 歯周外科治療① (目的と分類、歯周外科の治癒形態、歯周外科に用いる器具)							石 塚
10 歯周外科治療② (種類、根分岐部病変の治療、歯周一歯内病変の治療)							〃
11 歯周治療としてのリハビリテーション (咬合治療、矯正治療、歯の固定、インプラント治療)							〃
12 メンテナンス、サポータティブペリオドンタルセラピー:SPT (メンテナンス、SPTの重要性と意義、メンテナンス、SPTに移行する時期、リコール時の診査・治療)							〃
13 歯周治療における歯科衛生士の役割 (歯周治療の進め方、診査・診断の補助、歯周治療に使用する器具)							〃
14 歯周治療における歯科衛生士の役割 (ブランクチャート、ポケットチャートの種類、歯周治療に使用する器具)							〃
15 歯周疾患と全身疾患の関連性について (糖尿病、循環器疾患、高血圧、早産・低体重児出産、喫煙、骨粗鬆症、誤嚥性肺炎、菌血症等)							〃
<b>教本・参考図書</b> 最新 歯科衛生士教本 歯周病学				<b>評価方法</b>			
				・ 筆記試験		50点	【光銭】
				・ 筆記試験		50点	【石塚】
				合計		100点	
<b>留意事項</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>講義内容に該当する範囲は教科書にて予習すること(光銭)</li> <li>配布されたプリントにて復習し、2回目以降の講義で確認問題を行う(光銭)</li> <li>毎回の講義ごとに、講義内容に該当する範囲を教科書で予習しておくこと(石塚)</li> <li>配布プリントを復習し、2回目以降の講義毎に復習問題を行う(石塚)</li> </ul>							

教科名	口腔保健管理 I	時期	1年 前期・後期	担当者	永橋 茜 山岸 有子 千葉 佳鈴	実務	歯科衛生士
単位(時間数)	5(200)	形態	講義・実技・演習				
<b>概要</b> 口腔の二大疾患であるう蝕・歯周病の原因について理解し、生涯を通じて、人々が健康を維持・増進するための予防法、技術を学ぶ。また、専門的支援、援助を行うことのできる指導法を身につけた「考える歯科衛生士」の育成を目指す。 1年次は、口腔の基礎知識、う蝕予防・歯周病予防の概念と内容、口腔内情報収集やスクレーパー・歯面清掃・歯面研磨などの基本的な歯科衛生士介入の技術を身につける。							
<b>到達目標</b> 1.口腔の健康像がわかる 2.う蝕・歯周病の原因およびプロセスを説明できる 3.歯・口腔の健康を増進させるための方法がわかる 4.各種ブラッシング方法を実施できる 5.口腔内情報収集を実施できる 6.フッ化物の種類、作用機序、取り扱い方法がわかる 7.ライフステージごとの口腔保健管理を説明できる 8.歯面研磨・歯面清掃を適切に実施できる 9.小学生を対象とした個別指導能力を身につける 10.シクルスケーラーを適切に操作できる 11.超音波・エアスケーラーを適切に操作できる 12.う蝕活動性試験を説明できる 13.口腔清掃や歯周疾患の指数を説明できる 14.小窩裂溝充填法を実施できる							
<b>計画・(内容)</b>							<b>担当</b>
前期 1 概論①(歯科予防処置・歯科保健指導の定義・考え方・法的位置付け) 2 概論②(健康の概念、予防の概念) 3 口腔の基礎知識①(正常な口腔、歯周組織、歯冠と歯根の形態) 4 口腔の基礎知識②(口腔の機能、摂食嚥下の仕組み) 5 う蝕と歯周病の基礎知識(口腔内の付着物・沈着物) 6 う蝕とは①(う蝕の原因・分類) 7 う蝕とは②(食品とう蝕誘発性) 8 歯周病とは①(歯周病の分類と臨床的特徴) 9 歯周病とは②(進行プロセス、原因、影響を与える疾患) 10 食生活との関連(歯周病、酸蝕症、咀嚼) 11 歯科衛生介入としての歯科保健指導①(ブラッシング方法、音波ブラシ) 12 歯科衛生介入としての歯科保健指導②(ブラッシング演習) 13 歯科衛生介入としての歯科保健指導③(フロス、歯間ブラシ、タフトブラシの使用法) 14 歯科衛生介入としての歯科保健指導④(補助用具演習) 15 歯科衛生介入としての歯科保健指導⑤(その他の清掃方法:粘膜・スポンジ・舌ブラシ、洗口剤) 16 マネキン演習(術者の姿勢、ポジション、患者頭部の設定、ミラーテクニック) 17 口腔内の器質的問題の把握①(口腔内の観察、検査項目) 18 口腔内の器質的問題の把握②(歯面の付着物・沈着物 マネキン演習) 19 口腔内の器質的問題の把握③(プラークの測定方法) 20 口腔内の器質的問題の把握④(歯周ポケット、歯石、動揺度) 21 口腔内の器質的問題の把握⑤(歯間離開度、口臭) 22 口腔内の器質的問題の把握⑥(歯周組織検査、動揺度、歯間離開度 マネキン演習) 23 口腔内の器質的問題の把握⑦(探針操作、プラーク染め出し、術者磨き 相互実習) 24 フッ素の知識(フッ素の一般性状と用語、摂取量とその基準) 25 フッ化物の応用①(歯面塗布) 26 ブラッシング方法(実技試験) 27 フッ化物の応用②(フッ化物洗口) 28 フッ化物の応用③(歯磨剤) 29 保健行動支援のための基礎知識①(行動変容に関連する理論) 30 保健行動支援のための基礎知識②(行動変容を促す理論の実践) 31 歯周組織検査(実技試験) 32 患者からの情報収集①(主観的情報:医療面接、全身の健康状態) 33 患者からの情報収集②(認知機能、生活環境と生活背景の把握) 34 歯面研磨・歯面清掃①(目的、操作方法、注意事項) 35 患者からの情報収集③(歯周組織検査、動揺度、歯間離開度 相互実習) ※ 演習授業については、科目担当教員(永橋・山岸・千葉)が指導を行う。							永橋 山岸 千葉 山岸 千葉 永橋 永橋 千葉 千葉 山岸 山岸 山岸 山岸 永橋 山岸 千葉 山岸 千葉 山岸 千葉 山岸 永橋 永橋 山岸 永橋 山岸 永橋 山岸 永橋 山岸 千葉 千葉 千葉 永橋 永橋
<b>教本・参考図書</b> 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 最新歯科衛生士教本 歯・口の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学 第3版 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版				<b>評価方法</b> 前期 実技試験 (10点×3回実施=30点) 実技試験 (70点) 合計100点 後期 実技試験 (10点×2回実施=20点) 筆記試験 (80点) 合計100点			
<b>留意事項</b> 配布されたプリント及び参考資料は、予習・復習となるため、指示に従い使用・保管すること 演習の際は、積極的に参加すること 忘れ物(白衣・器具・器材)があった場合は、演習には参加できない 実技に関しては各自で自己練習をし、適切な操作ができるよう鍛錬すること 演習授業を欠席した場合は、後日補講を行う							

教科名	口腔保健管理 I	時期	1年 前期・後期	担当者	永橋 茜 山岸 有子 千葉 佳鈴	実務	歯科衛生士
単位(時間数)	5(200)	形態	講義・実技・演習				
<b>概要</b> 口腔の二大疾患であるう蝕・歯周病の原因について理解し、生涯を通じて、人々が健康を維持・増進するための予防法、技術を学ぶ。また、専門的支援、援助を行うことのできる指導法を身につけた「考える歯科衛生士」の育成を目指す。 1年次は、口腔の基礎知識、う蝕予防・歯周病予防の概念と内容、口腔内情報収集やスクレーリング・歯面清掃・歯面研磨などの基本的な歯科衛生士介入の技術を身につける。							
<b>到達目標</b> 1.口腔の健康像がわかる 2.う蝕・歯周病の原因およびプロセスを説明できる 3.歯・口腔の健康を増進させるための方法がわかる 4.各種ブラッシング方法を実施できる 5.口腔内情報収集を実施できる 6.フッ化物の種類、作用機序、取り扱い方法がわかる 7.ライフステージごとの口腔保健管理を説明できる 8.歯面研磨・歯面清掃を適切に実施できる 9.小学生を対象とした個別指導能力を身につける 10.シックルスクレーラーを適切に操作できる 11.超音波・エアスクレーラーを適切に操作できる 12.う蝕活動性試験を説明できる 13.口腔清掃や歯周疾患の指数を説明できる 14.小窩裂溝填塞法を実施できる							
<b>計画(内容)</b>							<b>担当</b>
36 患者からの情報収集③(歯周組織検査、動揺度、歯間離開度 相互実習)							永橋
37 歯面研磨・歯面清掃②(上下前歯部・臼歯部咬合面 マネキン演習)							永橋
38 喫煙者に対する指導①(生活習慣と病因論)							山岸
39 喫煙者に対する指導②(喫煙ステージのアセスメントと禁煙支援のポイント)							山岸
40 歯面清掃器(特徴、使用上の注意事項)							千葉
41 歯面研磨・歯面清掃(実技試験)							永橋
42 歯科衛生介入①(歯面研磨・歯面清掃・歯面清掃器 相互実習)							千葉
43 歯科衛生介入①(歯面研磨・歯面清掃・歯面清掃器 相互実習)							千葉
44 歯科衛生介入②(フッ化物歯面塗布綿球法 相互実習)							永橋
45 歯科衛生介入②(フッ化物歯面塗布綿球法 相互実習)							永橋
後期							
46 ライフステージ妊産婦期①(一般的・口腔の特徴、歯科衛生介入)							千葉
47 ライフステージ妊産婦期②(栄養と食生活指導)							千葉
48 ライフステージ乳児期・新生児期①(一般的・口腔の特徴、歯科衛生介入)							千葉
49 ライフステージ乳児期・新生児期②(栄養と食生活指導)							千葉
50 ライフステージ幼児期①(一般的・口腔の特徴、歯科衛生介入)							千葉
51 ライフステージ幼児期②(食生活の特徴と栄養、間食と食生活指導)							千葉
52 ライフステージ学齢期①(一般的・口腔の特徴、歯科衛生介入)							永橋
53 ライフステージ学齢期②(食生活の特徴と栄養、食育)							永橋
54 う蝕活動性試験①(意義、条件、目的、種類と特徴)							永橋
55 う蝕活動性試験②(検査実施)							山岸
56 う蝕活動性試験③(患者指導)							山岸
57 う蝕活動性試験④(結果分析)							永橋
58 リーフレットを使用した個人指導①(フッ化物の効果)							山岸
59 リーフレットを使用した個人指導②(う蝕予防と食生活)							永橋
60 歯周組織検査・学齢期の個人指導(1・3年生合同相互実習)							永橋
61 歯周組織検査・学齢期の個人指導(1・3年生合同相互実習)							永橋
62 学齢期における個人指導①(小学校歯磨き教室概要・練習)							永橋
63 学齢期における個人指導②(小学校歯磨き教室 練習)							永橋
64 学齢期における個人指導③(小学校歯磨き教室 実施)							永橋
65 小窩裂溝填塞法①(種類と特徴、実施上の注意、マネキン実習)							千葉
66 歯科衛生介入③(小窩裂溝填塞 相互実習)							千葉
67 歯科衛生介入③(小窩裂溝填塞 相互実習)							千葉
68 ライフステージ青年期①(一般的・口腔の特徴、歯科衛生介入)							山岸
69 ライフステージ青年期②(食生活の特徴と栄養、保健指導)							山岸
70 スクレーリング(手用スクレーラーの種類と操作方法)							千葉
※ 演習授業については、科目担当教員(永橋・山岸・千葉)が指導を行う。							
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>			
最新歯科衛生士教本		歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版		前期	実技試験 (10点×3回実施=30点)		
最新歯科衛生士教本		歯・口の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学 第3版		後期	実技試験 (70点) 合計100点		
最新歯科衛生士教本		歯周病学 第2版		後期	実技試験 (10点×2回実施=20点)		
					筆記試験 (80点) 合計100点		
<b>留意事項</b> 配布されたプリント及び参考資料は、予習・復習となるため、指示に従い使用・保管すること 演習の際は、積極的に参加すること 忘れ物(白衣・器具・器材)があった場合は、演習には参加できない 実技に関しては各自で自己練習をし、適切な操作ができるよう鍛錬すること 演習授業を欠席した場合は、後日補講を行う							



教科名	口腔保健管理 I	時期	1年 前期・後期	担当者	永橋 茜 山岸 有子 千葉 佳鈴	実務	歯科衛生士
単位(時間数)	5(200)	形態	講義・実技・演習				
<b>概要</b> 口腔の二大疾患であるう蝕・歯周病の原因について理解し、生涯を通じて、人々が健康を維持・増進するための予防法、技術を学ぶ。また、専門的支援、援助を行うことのできる指導法を身につけた「考える歯科衛生士」の育成を目指す。 1年次は、口腔の基礎知識、う蝕予防・歯周病予防の概念と内容、口腔内情報収集やスケーリング・歯面清掃・歯面研磨などの基本的な歯科衛生士介入の技術を身につける。							
<b>到達目標</b> 1.口腔の健康像がわかる 2.う蝕・歯周病の原因およびプロセスを説明できる 3.歯・口腔の健康を増進させるための方法がわかる 4.各種ブラッシング方法を実施できる 5.口腔内情報収集を実施できる 6.フッ化物の種類、作用機序、取り扱い方法がわかる 7.ライフステージごとの口腔保健管理を説明できる 8.歯面研磨・歯面清掃を適切に実施できる 9.小学生を対象とした個別指導能力を身につける 10.シクルスケーラーを適切に操作できる 11.超音波・エアスケーラーを適切に操作できる 12.う蝕活動性試験を説明できる 13.口腔清掃や歯周疾患の指数を説明できる 14.小窩裂溝充填法を実施できる							
<b>計画・(内容)</b>							<b>担当</b>
71 シクルスケーラーを使用したスケーリング①(上下前歯部 唇側 マネキン演習)							千葉
72 シクルスケーラーを使用したスケーリング②(上下前歯部 口蓋側・舌側 マネキン演習)							千葉
73 シクルスケーラーを使用したスケーリング③(上下前歯部 唇・舌・口蓋側 マネキン演習)							千葉
74 ライフステージ成人期①(一般的・口腔の特徴、歯科衛生介入)							山岸
75 ライフステージ成人期②(食生活の特徴と栄養、生活習慣病予防)							山岸
76 口腔内診査(DMFTの分類、染め出しの方法とPCRの計算)							山岸
77 歯科衛生介入③(口腔内診査:DMFT・PCR 相互実習)							山岸
78 歯科衛生介入③(口腔内診査:DMFT・PCR 相互実習)							山岸
79 シクルスケーラーを使用したスケーリング④(実技試験)							千葉
80 ライフステージ老年期①(一般的・口腔の特徴、歯科衛生介入)							山岸
81 ライフステージ老年期②(食生活の特徴と栄養、保健指導)							山岸
82 パワースケーラー①(種類と特徴、操作方法)							永橋
83 パワースケーラー②(取扱い方法、抜去歯牙演習)							永橋
84 パワースケーラー③(歯石除去 相互実習)							永橋
85 パワースケーラー③(歯石除去 相互実習)							永橋
86 シクルスケーラーのシャープニング(原則および目的、砥石の種類・方法)							永橋
87 歯科衛生介入④(シクルスケーラーを使用したスケーリング 相互実習)							千葉
88 歯科衛生介入④(シクルスケーラーを使用したスケーリング 相互実習)							千葉
89 学齢期の個人指導(患者設定 演習)							山岸
90 歯周病の分類(臨床的特徴と分類の進行プロセス)							千葉
91 歯周外科治療(目的と術式、適応症)							永橋
92 学齢期の個人指導(実技試験)							山岸
93 学齢期の個人指導(実技試験)							山岸
94 歯科衛生介入⑤(パキューム、ライティング 相互実習)							千葉
95 歯科衛生介入⑤(パキューム、ライティング 相互実習)							千葉
96 フッ化物急性中毒計算①(悪心・嘔吐発現フッ化物溶液量の算出)							永橋
97 フッ化物急性中毒計算①(悪心・嘔吐発現フッ化物溶液量の算出 応用問題)							永橋
98 指数①(ブラーク・歯石の指数)							山岸
99 指数②(歯周疾患の指数)							山岸
100 指数③(応用問題)							山岸
※ 演習授業については、科目担当教員(永橋・山岸・千葉)が指導を行う。							
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>			
最新歯科衛生士教本		歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版		前期		実技試験 (10点×3回実施=30点)	
最新歯科衛生士教本		歯・口の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学 第3版		後期		実技試験 (10点×2回実施=20点)	
最新歯科衛生士教本		歯周病学 第2版				筆記試験 (80点) 合計100点	
<b>留意事項</b> 配布されたプリント及び参考資料は、予習・復習となるため、指示に従い使用・保管すること 演習の際は、積極的に参加すること 忘れ物(白衣・器具・器材)があった場合は、演習には参加できない 実技に関しては各自で自己練習をし、適切な操作ができるよう鍛錬すること 演習授業を欠席した場合は、後日補講を行う							

教科名	診療補助 I	時期	1年 前期・後期	担当者	渡邊 恵里 三浦 伸子 渡邊 佳子	実務	歯科衛生士	
単位(時間数)	3 (120)	形態	講義・実技・演習					
<b>概要</b>								
<p>様々な、ライフステージにおける診療内容に対する介助や直接行為の基礎的な知識と技術を習得することで診療行為の集約をはかり診療の効率化に大きく寄与することができる能力と、実践力を養う。</p> <p>1年生では、診療室での医療安全と感染予防対策の基礎と円滑なチーム医療を行なうための診療の補助業務、患者情報収集、歯科材料や器械の知識や取り扱いについて学び、アシスタントワーク・対面行為については保存修復・歯内療法を中心とした診療の知識、技術、態度を習得する。</p>								
<b>到達目標</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>診療の補助と介助の違いが説明できる</li> <li>歯科診療の補助における歯科衛生士の役割を説明できる</li> <li>各情報収集の方法がわかる</li> <li>共同動作の基本(バキューム・ライティング操作、フォーハンド、器具の受け渡し)を実践できる</li> <li>感染に応じた対応(消毒・滅菌・廃棄)ができる</li> <li>スタンダードプレコーションがわかる</li> <li>医療事故に適切な対応ができる</li> <li>歯科材料(印象材・模型材料、仮封材、合着材、修復材料等)の基本的性質を説明できる。</li> <li>歯科材料(印象材・模型材料、仮封材、合着材、修復材料等)の取扱いができる</li> <li>保存治療、歯内療法の補助のために必要な治療手順、薬剤・器材の使用方法を習得する</li> </ul>								
<b>計画・(内容)</b>							<b>担当</b>	
<b>前期</b>								
1 歯科診療補助総論 (歯科診療補助とは、法的位置づけ)							三浦	
2 医療安全と感染予防① (医療安全)							三浦	
3 医療安全と感染予防② (感染予防)							渡邊	
4 医療安全と感染予防③ (手指衛生、薬品・歯科材料の管理)							三浦	
5 医療安全と感染予防④ (滅菌と消毒)							三浦	
6 医療安全と感染予防⑤ (医療廃棄物の取り扱い)							渡邊	
7 医療安全と感染予防③④ (滅菌と消毒、廃棄演習/手指衛生演習)							三浦	
8 歯科診療の基礎知識 (診療室、歯科用チェアユニット)							渡邊	
9 共同動作の基本① (器具の受け渡し、ポジショニング)							渡邊	
10 共同動作の基本② (バキューム、ライティング、スリーウェイ、コントラ)							渡邊	
11 共同動作の基本③ (ユニット操作演習)							渡邊	
12 共同動作の基本① (器具の受け渡し、ポジショニング演習)							三浦	
13 共同動作の基本① (器具の受け渡し、ポジショニング演習)							三浦	
14 共同動作の基本② (バキューム、ライティング、スリーウェイ、コントラ演習)							渡邊	
15 共同動作の基本② (バキューム、ライティング、スリーウェイ、コントラ演習)							渡邊	
16 歯科材料の取り扱い (綿花・・・ブローチ綿栓、洗浄用綿球作成)							渡邊	
17 患者資料の収集① (口腔内規格写真撮影)							渡邊	
18 患者資料の収集① (口腔内規格写真撮影とPC入力)							渡邊	
19 歯科材料の取り扱い (各種印象材について)							三浦	
20 歯科材料の取り扱い (石膏について)							渡邊	
21 患者資料の収集② (アルジネート印象材の練和)							渡邊	
22 患者資料の収集② (アルジネート印象材の練和・盛り付け)							渡邊	
23 綿花取扱い実技確認							渡邊	
24 患者資料の収集② (スタディモデルの作製・マネキン演習)							三浦	
25 患者資料の収集② (スタディモデルの作製・マネキン演習)							三浦	
26 患者資料の収集② (スタディモデルの作製・相互演習)							渡邊	
27 患者資料の収集② (スタディモデルの作製・相互演習)							渡邊	
28 患者資料の収集② (スタディモデルの作製・石膏注入)							渡邊	
29 バキューム・ライティング演習							渡邊	
30 バキューム・ライティング演習							渡邊	
31 スタディモデル作製実技確認							渡邊	
32 歯科材料の取り扱い (仮封材について)							渡邊	
33 歯科材料の取り扱い (仮封材について)							渡邊	
<b>教本・参考図書</b>					<b>評価方法</b>			
最新歯科衛生教本 歯科診療補助第2版					前期	筆記試験	70点	合計 100点
最新歯科衛生教本 歯科器械						実技試験	30点	
最新歯科衛生教本 保存修復・歯内療法(※)					後期	筆記試験	70点	合計 100点
						実技試験	30点	
<b>留意事項</b>								
<p>授業時間内に確認問題を行う場合あり</p> <p>グループワーク及び発表には積極的に参加すること</p> <p>忘れ物(白衣・器具・器材)をした場合、演習に参加できません</p> <p>演習前には始業点検を終了しておくこと</p> <p>教本 (※)保存修復・歯内療法の診療補助の授業の際に使用します。</p>								

教科名	診療補助 I	時期	1年 前期・後期	担当者	渡邊 恵里 三浦 伸子 渡邊 佳子	実務	歯科衛生士
単位(時間数)	3 (120)	形態	講義・実技・演習				
<b>概要</b>							
<p>様々なライフステージにおける診療内容に対する介助や直接行為の基礎的な知識と技術を習得することで診療行為の集約をはかり診療の効率化に大きく寄与することができる能力と、実践力を養う。</p> <p>1年生では、診療室での医療安全と感染予防対策の基礎と円滑なチーム医療を行なうための診療の補助業務、患者情報収集、歯科材料や器械の知識や取り扱いについて学び、アシスタントワーク・対面行為については保存修復・歯内療法を中心とした診療の知識、技術、態度を習得する。</p>							
<b>到達目標</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>診療の補助と介助の違いが説明できる</li> <li>歯科診療の補助における歯科衛生士の役割を説明できる</li> <li>各情報収集の方法がわかる</li> <li>共同動作の基本(バキューム・ライティング操作、フォーハンド、器具の受け渡し)を実践できる</li> <li>感染に応じた対応(消毒・滅菌・廃棄)ができる</li> <li>スタンダードプレコーションがわかる</li> <li>医療事故に適切な対応ができる</li> <li>歯科材料(印象材・模型材料、仮封材、合着材、修復材料等)の基本的性質を説明できる。</li> <li>歯科材料(印象材・模型材料、仮封材、合着材、修復材料等)の取扱いができる</li> <li>保存治療、歯内療法の補助のために必要な治療手順、薬剤・器材の使用方法を習得する</li> </ul>							
<b>計画・(内容)</b>							<b>担当</b>
後期							
34 寒天連合印象・歯肉排除							三浦
35 寒天連合印象・歯肉排除 (歯肉排除・寒天連合印象マネキン演習)							三浦
36 寒天連合印象 (寒天連合印象採得・相互演習)							三浦
37 寒天連合印象 (寒天連合印象採得・相互演習)							三浦
38 寒天連合印象 (寒天連合印象石膏注入演習)							三浦
39 仮封材練和実技確認							渡邊
40 材料の取り扱い (合着材、仮着材、接着材)							渡邊
41 材料の取り扱い (合着材、仮着材、接着材)							渡邊
42 ラバーダム防湿法							渡邊
43 保存修復の診療補助 (歯間分離・隔壁)							渡邊
44 保存修復の診療補助 (歯間分離・隔壁)							渡邊
45 保存修復の診療補助 (コンポジットレジン・接着システム)							三浦
46 保存修復の診療補助 (グラスアイオノマーセメント・Hys・研磨)							三浦
47 合着材練和実技確認							渡邊
48 合同授業(口腔ケア)							渡邊
49 保存修復の診療補助 (コンポジットレジン充填演習)							渡邊
50 保存修復の診療補助 (グラスアイオノマーセメント・Hys演習)							渡邊
51 保存修復の診療補助 (コンポジットレジン充填演習・時間内実技提出)							渡邊
52 保存修復の診療補助 (コンポジットレジン充填演習・時間内実技提出)							渡邊
53 受け渡し演習 (コンポジットレジン充填の術式)							渡邊
54 受け渡し演習 (仮封材)							渡邊
55 印象採得演習							渡邊
56 印象採得演習							渡邊
57 歯内療法の診療補助 (Per、Pulの違いについて)							渡邊
58 歯内療法の診療補助 (麻酔抜髄)							三浦
59 歯内療法の診療補助 (根管充填)							渡邊
60 歯内療法の受け渡し演習(麻酔抜髄から根管充填までの流れに沿った器具の受け渡し)							渡邊
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>			
最新歯科衛生教本 歯科診療補助第2版		最新歯科衛生教本 歯科材料		前期	筆記試験	70点	
最新歯科衛生教本 歯科器機					実技試験	30点	合計 100点
最新歯科衛生教本 保存修復・歯内療法(※)				後期	筆記試験	70点	
					実技試験	30点	合計 100点
<b>留意事項</b>							
<p>授業時間内に確認問題を行う場合あり</p> <p>グループワーク及び発表には積極的に参加すること</p> <p>忘れ物(白衣・器具・器材)をした場合、演習に参加できません</p> <p>演習前には始業点検を終了しておくこと</p> <p>教本 (※)保存修復・歯内療法の診療補助の授業の際に使用します。</p>							

教科名	臨地・臨床実習	時期	1年 後期	担当者	実習指導者 (登録者)	実務	歯科医師 歯科衛生士
単位(時間数)	2 (90)	形態	実習				
<b>概要</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>臨床の場において歯科医療の実際を学び、治療の流れと歯科衛生士の役割を知る</li> <li>学校内で習得した技術を実践できる能力を養う</li> <li>チーム医療の一員として歯科衛生士の自覚をもつ</li> </ul>							
<b>到達目標</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>患者誘導がスムーズにできる</li> <li>清潔・不潔を理解し、器具の準備・後始末ができる</li> <li>基本のパキューム・ライティング操作ができる</li> <li>歯内療法に使用する器具器材の名称・用途がわかる</li> <li>保存修復に使用する器具器材の名称・用途がわかる</li> </ul>							
<b>計画・(内容)</b>							<b>担当</b>
<p>※ 函館市内、近郊の歯科医院での実習</p> <p>1日6時間</p> <p>・2月～3月      15日間</p>							
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>			
				歯科診療所による評価なし 90時間の出席をすることで単位修得とする			
<b>留意事項</b>							
体調管理を心がけ、欠席・遅刻・早退し実習時間が不足した場合は、公欠・忌引に関わらず補講実習を行う 実習中の服装・身だしなみには十分気をつけること 解らないことは積極的に質問し、意欲的に学ぶこと 実習記録については、実習先の歯科医院で見学した内容を記録すること 履修済みの臨床科目については復習しておくこと。また、アルバイトは入れないほうが好ましい							



教科名	接客・マナー	時期	1年 前期	担当者	海野 真樹	実務・ <b>一般</b>
単位(時間数)	1 ( 15 )	形態	講義			
<b>概要</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス接客検定3級の合格を目指し、サービス・マナーの必要性を考え、社会人基礎力を学ぶ</li> <li>サービス接客の具体的な考え方、行動の仕方、言葉遣いについて深く学び、身に付ける</li> </ul>						
<b>到達目標</b>						
<ol style="list-style-type: none"> <li>サービス接客検定に合格する</li> <li>第一印象の重要性がわかる</li> <li>サービス・マナーの必要性を考え、自主的に取り組む姿勢を身に付ける</li> </ol>						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>
1 第一印象とは (メラビアンの法則をもとに第一印象がどれだけ影響があるか学ぶ)						海野
2 良いサービスとは (サービス・マナーについて考える ディスカッション形式)						〃
3 身だしなみ・笑顔・表情・立ち居振る舞い (ビジネスマナーの基本を実践し学ぶ)						〃
4 商業用語・経済用語 (商業経済に関する慣用語、ことわざについてテスト形式で確認する 受験ガイド及びプリントを用いて知識を身に付け、その後テスト形式で確認する)						〃
5 人間関係・接客知識・話し方 (受験ガイド及びプリントを用いて知識を身に付けその後テスト形式で確認する)						〃
6 問題処理・金品管理 (受験ガイド及びプリントを用いて知識を身に付けその後テスト形式で確認する)						〃
7 模擬問題 1 (過去問題を解き 採点・解説)						〃
8 模擬問題 2 (過去問題を解き 採点・解説)						〃
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>		
サービス接客検定3級受験ガイド サービス接客検定問題集				サービス接客検定3級合格を可否の基準とする		
<b>留意事項</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>受け身にならず積極的に参加すること</li> <li>授業毎に復習問題を行い、知識が身に付いているか確認を行う</li> </ul>						

教科名	体 育	時 期	1年 前期・後期	担当者	佐々木 則子	実務・ <b>一般</b>
単位(時間数)	1 ( 40 )	形 態	実 技		原崎 千鶴子	実務・ <b>一般</b>
<b>概 要</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>健康体力づくりの基礎知識を理解し、生涯を通じて健康の維持、増進するための実践方法を学ぶ (佐々木・原崎)</li> <li>日常生活動作や運動時における正しい姿勢の重要性を理解し、不良姿勢の改善方法を学ぶ (佐々木・原崎)</li> </ul>						
<b>到達目標</b>						
1 立位、椅子座位、有酸素運動、筋力トレーニング(体幹トレーニング含む)、ストレッチングなどの基本姿勢を習得し、正しいフォームで行うことができる (佐々木・原崎) 2 個人、集団での実技を行うなかで、体を動かすことの楽しさ、爽快感などを体感し、日常生活動作や運動の重要性を知る (佐々木・原崎)						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担 当</b>
1 姿勢モニタリング (ゆがみチェックと改善エクササイズ)ほぐし、ストレッチング						佐々木
2 STEP運動、筋力トレーニング&ストレッチング(上肢)						〃
3 STEP運動、筋力トレーニング&ストレッチング(上肢)						〃
4 STEP運動、筋力トレーニング&ストレッチング(上肢)						〃
5 STEP運動、筋力トレーニング&ストレッチング(下肢)						〃
6 STEP運動、筋力トレーニング&ストレッチング(下肢)						〃
7 STEP運動、筋力トレーニング&ストレッチング(下肢)						〃
8 STEP運動、姿勢改善トレーニング						〃
9 復習						〃
10 筆記テスト・実技テスト						〃
11 フィットネステスト(今の自分の体力レベルを知ろう)&全身のストレッチング						原 崎
12 リズムウォーキング、筋力トレーニング、ストレッチング&姿勢改善エクササイズ						〃
13 エアロビクダンス(マーチ系)&体幹トレーニング、ストレッチング						〃
14 エアロビクダンス(ステップタッチ系)&体幹トレーニング、ストレッチング						〃
15 エアロビクダンス(ハイインパクト系)&体幹トレーニング、ストレッチング						〃
16 エアロビクダンス(コンビネーション)&体幹トレーニング、ストレッチング						〃
17 エアロビクダンス(フォーメーション)&体幹トレーニング、ストレッチング						〃
18 エアロビクダンス(リズムチェンジ)&体幹トレーニング、ストレッチング						〃
19 復習						〃
20 筆記テスト・実技テスト						〃
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>		
公益社団法人日本フィットネス協会発行書籍				筆記試験(20%) 実技試験(80%)		【佐々木】
				筆記試験(20%) 実技試験(80%)		【原崎】
<b>留意事項</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>①ジャージ ②シューズ ③水分 ③タオル ④筆記用具</li> <li>授業は積極的に参加・発言すること</li> </ul>						

教科名	学級コミュニケーション	時期	1年 前期・後期	担当者	千葉 佳鈴	実務	歯科衛生士
単位(時間数)	2 (80)	形態	講義・演習		専任教員		
<b>概要</b> 思いやりの心を持ち、円滑な人間関係を構築するためコミュニケーションスキルやホスピタリティマナーを身につけ豊かな人間性と社会性を育むことができることを目的とする 定期試験や資格試験、国家試験にむけた学習方法がわかるための対策を行う							
<b>到達目標</b> 学校生活や学校行事などを通しクラスメイトとの親睦を深める 円滑な人間関係構築のため、また歯科衛生士として必要なコミュニケーション能力を身につける グループエンカウンターを通じて自己開示と他者理解を深める 定期試験・資格試験・国家試験に向けて自分に合った学習方法を見つけ、日々の学習する習慣を身につける							
計画・(内容)							担当
1	クラス役員選出(クラス役員・係)						永橋
2	個人目標設定・クラス目標(KJ法)						〃
3	人間関係(人間関係を築くエンカウンターを行う)						〃
4	春のレクリエーションについて(レクの内容、グループ分け等)						〃
5	学習について(学習担当よりノートの取り方 等)						〃
6	QU1回目(学級満足度調査の実施)						〃
7	人間関係(人間関係を築くエンカウンターを行う)						〃
8	一般教養						〃
9	状況に応じたSL(その時期に一番必要と思われる内容を実施する)						〃
10	学習(資格試験に向けた対策)						〃
11	学習(資格試験に向けた対策)						〃
12	状況に応じたSL(その時期に一番必要と思われる内容を実施する)						〃
13	スポーツレクリエーションについて(内容決め)						〃
14	スポーツレクリエーションについて(班決め)						〃
15	スポーツレクリエーション反省・学習(定期試験にむけた対策)						〃
16	人間関係(クラスの状況に合わせたエンカウンターを行う)						〃
17	人間関係(自己肯定感を高めるエンカウンターを行う)						〃
18	状況に応じたSL(その時期に一番必要と思われる内容を実施する)						〃
19	学習(資格試験に向けた対策)						〃
20	夏休みの過ごし方(学習について・ボランティア活動 等)						〃
※内容により担当が替わる事有り							
教本・参考図書				評価方法			
				定期試験 なし 単位修得の為の出席確認 (欠席の場合、レポート提出)			
<b>留意事項</b> グループワーク及び発表には積極的に参加すること 行事では積極的に行動し、楽しむこと また、全員が楽しめるよう周囲の状況をよく観察し工夫すること 学校行事の準備は全員で協力し合うこと 最低、月に一度は5Sを実施する							

教科名	学級コミュニケーション	時期	1年 前期・後期	担当者	千葉 佳鈴	実務 歯科衛生士
単位(時間数)	2 (80)	形態	講義・演習		専任教員	
<b>概要</b> 思いやりの心を持ち、円滑な人間関係を構築するためコミュニケーションスキルやホスピタリティマナーを身につけ豊かな人間性と社会性を育むことができることを目的とする 定期試験や資格試験、国家試験にむけた学習方法がわかるための対策を行う						
<b>到達目標</b> 学校生活や学校行事などを通しクラスメイトとの親睦を深める 円滑な人間関係構築のため、また歯科衛生士として必要なコミュニケーション能力を身につける グループエンカウンターを通じて自己開示と他者理解を深める 定期試験・資格試験・国家試験に向けて自分に合った学習方法を見つけ、日々の学習する習慣を身につける						
計画・(内容)						担当
21	前期反省・後期目標	後期クラス役員改選(クラス役員・係)				永橋
22	秋のレクリエーション(レクの内容、グループ分け等)					〃
23	人間関係(クラスの状況に合わせたエンカウンターを行う)					〃
24	一般教養					〃
25	状況に応じたSL(その時期に一番必要と思われる内容を実施する)					〃
26	状況に応じたSL(その時期に一番必要と思われる内容を実施する)					〃
27	人間関係(クラスの状況に合わせたエンカウンターを行う)					〃
28	一般教養					〃
29	状況に応じたSL(その時期に一番必要と思われる内容を実施する)					〃
30	学校祭反省、人間関係(クラスの状況に合わせたエンカウンターを行う)					〃
31	QU2回目(学級満足度調査の実施)					〃
32	人間関係(自己肯定感を高めるエンカウンターを行う)					〃
33	状況に応じたSL(その時期に一番必要と思われる内容を実施する)					〃
34	学習(定期試験にむけた対策)					〃
35	学習(定期試験にむけた対策)					〃
36	決意式について①(内容・クラス・個人目標)					〃
37	決意式について②(準備等)					〃
38	決意式について③(作成物 等)					〃
39	歓送会・激励会(内容決め・準備)					〃
40	SNSについて、臨床実習にむけて(SNSの危険性を認識すること・臨床実習に向けた心構え)					〃
※内容により担当が替わる事有り						
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b> 定期試験 なし 単位修得の為の出席確認 (欠席の場合、レポート提出)		
<b>留意事項</b> グループワーク及び発表には積極的に参加すること 行事では積極的に行動し、楽しむこと また、全員が楽しめるよう周囲の状況をよく観察し工夫すること 学校行事の準備は全員で協力し合うこと 最低、月に一度は5Sを実施する						

2年生



# 教育課程

分野	教育内容	学科目	単位数	時間数	1年	2年	3年
基礎	科学的思考の基礎	生物	2	30	30		
		情報処理	2	30	30		
		衛生統計	1	15		15	
	人間と社会の理解	英語コミュニケーション	1	20	20		
		心理学Ⅰ	1	20	20		
		心理学Ⅱ	1	20		20	
		国語表現	2	30	30		
小計			10	165	130	35	
専門基礎	人体(歯と口腔を除く)の構造と機能	解剖・生理	3	45	45		
		生化学	1	15	15		
	歯・口腔の構造と機能	口腔組織	1	15	15		
		口腔生化学	1	15	15		
		口腔解剖	2	30	30		
		歯牙解剖	1	15	15		
		口腔生理	1	15	15		
	疾病の成り立ちと回復の促進	病理学	2	30	30		
		薬理学	2	30		30	
		微生物学	2	30	30		
	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会のしくみ	保健生態学Ⅰ	2	30	30		
		保健生態学Ⅱ	3	45		15	30
		衛生行政	1	15			15
		社会福祉	1	15			15
小計			23	345	240	45	60
専門	歯科衛生士概論	歯科衛生学総論	1	15	15		
		歯科医療倫理	1	15		15	
	臨床歯科医学	保存修復	1	20	20		
		歯内療法	1	20	20		
		歯周疾患	1	30	30		
		放射線	1	30		30	
		歯科補綴	1	30		30	
		矯正歯科	1	30		30	
		小児歯科	1	20		20	
		口腔外科	2	40		40	
		障がい者歯科	1	15		15	
		高齢者・有病者歯科	1	30		30	
	歯科予防処置論	口腔保健管理Ⅰ	5	200	200		
		口腔保健管理Ⅱ	4	160		160	
	歯科保健指導論	口腔保健管理Ⅲ	2	80			80
		栄養指導	1	30			30
		摂食嚥下	1	15		15	
		口腔リハビリテーション	1	20		20	
		地域包括ケア	1	15			15
	歯科診療補助論	診療補助Ⅰ	3	120	120		
診療補助Ⅱ		2	80		80		
診療補助Ⅲ		1	40			40	
看護学		1	30		30		
介護概論		1	15		15		
介護技術		1	40		40		
臨地・臨床実習	臨地・臨床実習	20	900	90	360	450	
小計			57	2040	495	930	615
選択必修	選択・必修分野	接遇・マナー	1	15	15		
		体育	1	40	40		
		歯科医療事務	2	40			40
		学級コミュニケーション	4	160	80	40	40
		課題研究	2	60		30	30
		総合講義	4	120			120
小計			14	435	135	70	230
合計			104	2985	1000	1080	905

※ 1単位・・・講義 15～30時間

実技・演習 40時間

実習 45時間

# 授 業 進 度 表

		2年前期				
科目	頁	4月	5月	6月	7月	8月
衛 生 統 計	38	●————●			●————●	
心 理 学 II	39					
薬 理 学	40	●————●				
保 健 生 態 学 II	41	●————●		●————●		
歯 科 医 療 倫 理	42		●————●			
放 射 線	43	●————●				
歯 科 補 綴	44	●————●				
矯 正 歯 科	45	●————●				
小 児 歯 科	46	●————●				
口 腔 外 科	47	●————●				
障 が い 者 歯 科	48					
高 齢 者 ・ 有 病 者 歯 科	49	●————●				
口 腔 保 健 管 理 II	50～52	●————●				
摂 食 ・ 嚥 下	53					
口 腔 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	54					
診 療 補 助 II	55	●————●				
看 護 学	56	●————●				
介 護 概 論	57					
介 護 技 術	58					
臨 地 ・ 臨 床 実 習	59					
学 級 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	60	●————●				
課 題 研 究	61					





教科名	衛生統計	時期	2年 前期	担当者	岩井 祐司	実務・一般	歯科医師										
単位(時間数)	1 ( 15 )	形態	講義		山崎 幸路	実務・一般											
<b>概要</b>																	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯・口腔の健康と予防のため、保健情報を把握し、衛生統計の手法を習得する。(岩井)</li> <li>・ パソコンを用いた、衛生統計の求め方を習得する。(山崎)</li> </ul>																	
<b>到達目標</b>																	
<table border="0"> <tr> <td>1 EBMを説明できる(岩井)</td> <td>6 代表値や散布度を説明できる(岩井)</td> </tr> <tr> <td>2 国家保健統計を説明できる(岩井)</td> <td>7 検定を説明できる(岩井)</td> </tr> <tr> <td>3 調査方法・研究方法を分類し、説明できる(岩井)</td> <td>8 図表を説明できる(岩井)</td> </tr> <tr> <td>4 スクリーニング検査を説明できる(岩井)</td> <td>9 個人情報保護を説明できる(岩井)</td> </tr> <tr> <td>5 標本抽出法を説明できる(岩井)</td> <td>10 収穫したデータをもとに、エクセルを使い各種統計情報を求める事が出来る(山崎)</td> </tr> </table>								1 EBMを説明できる(岩井)	6 代表値や散布度を説明できる(岩井)	2 国家保健統計を説明できる(岩井)	7 検定を説明できる(岩井)	3 調査方法・研究方法を分類し、説明できる(岩井)	8 図表を説明できる(岩井)	4 スクリーニング検査を説明できる(岩井)	9 個人情報保護を説明できる(岩井)	5 標本抽出法を説明できる(岩井)	10 収穫したデータをもとに、エクセルを使い各種統計情報を求める事が出来る(山崎)
1 EBMを説明できる(岩井)	6 代表値や散布度を説明できる(岩井)																
2 国家保健統計を説明できる(岩井)	7 検定を説明できる(岩井)																
3 調査方法・研究方法を分類し、説明できる(岩井)	8 図表を説明できる(岩井)																
4 スクリーニング検査を説明できる(岩井)	9 個人情報保護を説明できる(岩井)																
5 標本抽出法を説明できる(岩井)	10 収穫したデータをもとに、エクセルを使い各種統計情報を求める事が出来る(山崎)																
<b>計画・(内容)</b>							<b>担当</b>										
1 保健情報と保健統計学(データと情報、保健情報の種類、国家統計調査)							岩井										
2 スクリーニング抽出法(疾病と検査との関係)							〃										
3 保健統計の方法(統計へのスタンスと目標、実例)							〃										
4 検定(選択と実際)							〃										
5 情報の保護と倫理 (情報社会の犠牲と問題点、情報の開示と個人情報の保護、インターネットと情報倫理〔情報モラル〕)							〃										
6 教本第5章より、Excelによる関数とデータ分析機能 (基本統計量:平均、中央値、標準偏差、分散など)							山崎										
7 教本第6章より、Excelによる関数とデータ分析機能 (各種検定:t検定やx(カイ)二乗検定など)							〃										
8 教本第6章より、Excelによる図表の作り方 (棒グラフ、ヒストグラム、折れ線グラフ、円グラフ、帯グラフ、散布図、相関図、レーダーチャート、地図図表、絵グラフ)							〃										
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>													
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最新 歯科衛生士教本</li> <li>・ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み3 保健情報統計学</li> <li>・ 必要に応じてプリント、データ配布(山崎)</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 筆記試験 70点 【岩井】</li> <li>・ 小テスト3回 各10点 【山崎】</li> <li>合計 100点</li> </ul>													
<b>留意事項</b>																	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各自USBメモリ(低用量で可)を用意すること【山崎】</li> </ul>																	

教科名	心理学Ⅱ	時期	2年 後期	担当者	藤村 敦	実務・ <b>一般</b>
単位(時間数)	1 ( 20 )	形態	講義			
<b>概要</b>						
<p>歯科衛生士は、患者や職場内において良好な人間関係を築くことが求められる。本講義は、1年次の「心理学Ⅰ」で学んだコミュニケーションスキルに関する知識や、心理学に関する主要な理論を基盤とした学習を行う。臨床場面におけるコミュニケーションの具体的な方法や、コミュニケーションを行う際に配慮することが必要となるであろう、こころの発達等に関する各種理論についての学習を行う。具体的な演習などを通して、人間関係づくりに必要なスキルについて具体的に理解することができるような講義とする。</p>						
<b>到達目標</b>						
<ol style="list-style-type: none"> <li>こころの発達の様相や各発達段階における課題について理解し、説明することができる。</li> <li>対人援助に必要な技法について説明できるとともに、各技法を臨床場面に当てはめて考えることができる。</li> <li>対人関係に関する主要な理論について説明することができる。</li> </ol>						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>
<ol style="list-style-type: none"> <li>オリエンテーション、発達するこころ(1)①(「発達」を考える)</li> <li>発達するこころ(1)②(発達段階と発達課題、乳幼児期から児童期のこころの発達)</li> <li>発達するこころ(1)③(神経発達症群/神経発達障害群Ⅰ:知的能力障害等の理解と対応)</li> <li>発達するこころ(1)④(神経発達症群/神経発達障害群Ⅱ:自閉症スペクトラム等の理解とその対応)</li> <li>発達するこころ(2)(青年期、成人期、高齢期)</li> <li>人とかかわる心理(対人認知、帰属理論、対人魅力-好き・きらいの心理-)</li> <li>人と集うこころ(集団の心理、リーダーシップ、社会的影響)、小テスト</li> <li>健康なこころ(メンタルヘルス、心理臨床の対象、心理療法のいろいろ)</li> <li>カウンセリングのこころ(カウンセリングとは、カウンセリングマインド、ロジャーズの基本姿勢を取り入れた介入法)</li> <li>思いを伝え合うこころ(医療コミュニケーションの基礎、コミュニケーション・スキル、特殊な場面でのコミュニケーション・スキル)、小レポート課題作成</li> </ol>						
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>		
最新 歯科衛生士教本 心理学 医歯薬出版株式会社				授業内小テスト(20%)、小レポート(20%)授業内演習課題(60%)を基にして総合的に評価を行い、60点以上で合格とする。		
<b>留意事項</b>						
・教科書は、1年次の心理学Ⅰで使用したものを引き続き使用します。						



教科名	保健生態学Ⅱ	時期	2年 前期	担当者	奥 ひろみ	実務・一般 歯科衛生士
単位(時間数)	1 ( 15 )	形態	講義		加藤 元康	実務・一般 歯科医師
					岩井 祐司	実務・一般 歯科医師

### 概要

保健生態学は、衛生学・公衆衛生学および口腔衛生学を一連のものとして捕らえた学問です。その内容は3編に分割して、Ⅰ編『健康を左右する環境』、Ⅱ編『歯・口腔の健康と予防』、Ⅲ編『健康に関わる地域の役割』となっております。この授業では、Ⅰ編『健康を左右する環境』について学びます。主として衛生学を取扱い、健康と予防医学の概念および人間を取巻く自然的・社会的要因と健康との関係について学びます。なお、第5、6章については、3年次の保健生態学Ⅱの授業にて学ぶ。

### 到達目標

- 1 プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションの概要を説明できる(奥)
- 2 予防医学の概念を説明できる(奥)
- 3 世界および日本の人口推移、人口統計・死亡統計・生命表を説明できる。(加藤)
- 4 人における環境の重要性、一方、環境破壊に起因する公害および廃棄物への対応について理解し、説明できる。(加藤)
- 5 疫学の歴史、研究方法を理解し、発生因子、疾病の進行の指標を説明できる(岩井)

### 計画・(内容)

### 担当

- 1 保健生態学の定義と健康の概念 (WHOの憲章とプライマリヘルスケア、ヘルスプロモーションを学ぶ)  
予防医学の概念について (疾病の自然的経過と予防法の適応について第1～第3の予防段階を学ぶ)
- 2 人口において人口統計、人口構造および死亡に関する統計を学ぶ。
- 3 生命表より平均余命および平均寿命の動向について学ぶ。
- 4 環境(空気・水・気候・放射線・住居・衣服)と健康について学ぶ。
- 5 地球温暖化に伴う変化や公害および廃棄物が健康に及ぼす影響とその原因物質について学ぶ。
- 6 疫学の定義および概要 (疫学とは・発生因子・指標)
- 7 疫学の方法 (記述疫学・分析疫学)
- 8 疫学の方法 (介入研究)

奥

加藤

〃

〃

〃

岩井

〃

〃

### 教本・参考図書

最新 歯科衛生士教本  
歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1  
保健生態学 第2版

### 評価方法

筆記試験	25点	【奥】	
筆記試験	45点	小テスト5点	【加藤】
筆記試験	25点	【岩井】	合計 100点

### 留意事項

- ・グループディスカッションの際には、積極的に参加すること (奥)

教科名	歯科医療倫理	時期	2年 前期	担当者	奥 ひろみ	実務・一般 歯科衛生士
単位(時間数)	1 ( 15 )	形態	講義			
<b>概要</b>						
<p>現在の医療のあり方は、医師中心の倫理観を根拠とした伝統を覆すごとく、患者中心とした《患者－医療従事者》間の密接した関係性を重視する新たな医療倫理の展開が重要視されている。</p> <p>本講義では、歯科衛生士という医療現場における専門職の一員として、倫理的判断に基づいた対人援助行動について学ぶ。また、歯科医療における様々な問題について考える。</p>						
<b>到達目標</b>						
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療従事者の職業倫理に関する規範と、患者の権利について概説できる。</li> <li>2. インフォームド・コンセントの倫理的意義について述べるができる</li> <li>3. 生活行動と保健行動について説明できる</li> <li>4. 歯科医療におけるQOLの向上について説明できる</li> </ol>						
<b>計画・(内容)</b>						
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療従事者の基本義務と患者中心の医療について学ぶ</li> <li>2. 医療従事者の職業倫理に関する規範と、患者さんの権利について学ぶ</li> <li>3. バイオエシックス(生命倫理学)に関わる問題として、生命の始まりと終わりに関わる様々な倫理的問題について学び、ディスカッションを通じて理解を深める</li> <li>4. インフォームド・コンセントと、患者中心の医療について事例から考える</li> <li>5. 歯科医療を考えるうえで必要な行動 (患者の行動と、歯科医療従事者の行動について考える)</li> <li>6. 歯科医療を考えるうえで必要な行動 (様々な事例をもとに考える)</li> <li>7. 歯科医療における様々な問題について学ぶ (医療事故、訴訟問題)</li> <li>8. まとめ</li> </ol>						
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>		
授業毎にプリント、資料を配布				筆記試験 (70点) ディスカッションへの積極性 (30点)		
<b>留意事項</b>						
グループディスカッションの際には、積極的に参加すること						





教科名	矯正歯科	時期	2年 前期	担当者	大内 英樹	実務・一般 歯科医師
単位(時間数)	1 ( 30 )	形態	講義		勝又 茂	実務・一般 歯科医師
<b>概要</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科矯正学を通じて歯科全般について理解力を高める(大内)</li> <li>・ 教本並びに実際に使用している矯正装置及び器具を用い、授業の達成をはかる。(勝又)</li> </ul>						
<b>到達目標</b> 1 顎、顔面の成長発育を理解する(大内) 2 矯正力と生体反応(組織)を理解する(大内) 3 矯正診断、症例分析がわかる(大内) 4 矯正治療に使用する装置の種類、構造、作用機序を把握し説明できる。(勝又) 5 各不正咬合における矯正治療の流れを把握し説明できる。(勝又) 6 矯正歯科臨床における歯科衛生士の役割を理解し説明できる。(勝又)						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>
1 矯正治療とは (歴史と概要)						大内
2 成長発育① (全身と顎顔面)						〃
3 成長発育② (歯槽部)						〃
4 矯正診断 (模型分析とセファロ分析)						〃
5 矯正力と組織反応について (矯正力と歯周組織)						〃
6 歯の移動① (顎整形力と矯正力)						〃
7 歯の移動② (歯の移動様式)						〃
8 矯正装置の種類 (可撤式矯正装置、固定式矯正装置、機能的矯正装置、拡大装置、顎外固定装置、口腔習癖除去装置、保定装置)						勝又
9 矯正治療と保健治療 (先天奇形と外科矯正について)						大内
10 歯科矯正治療の実際 ①上下顎の前後的關係の不調和						勝又
11 〃 ②上下顎の垂直的關係の不調和						〃
12 〃 ③成人矯正						〃
13 〃 ④矯正歯科治療のトラブルへの対応						〃
14 矯正歯科における歯科衛生士の役割 (矯正歯科診療時の業務)						〃
15 まとめ (国家試験問題による復習)						〃
<b>教本・参考図書</b> 最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正歯科				<b>評価方法</b> 筆記試験(50点) 【大内】 筆記試験(50点) 【勝又】 合計 100点		
<b>留意事項</b>						



教科名	小児歯科	時期	2年 前期	担当者	向山 英明	実務・一般 歯科医師
単位(時間数)	1 ( 20 )	形態	講義			
<b>概要</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>治療の対象が成長を続ける小児であることから、一口腔内一単位として治療を行い、口腔領域の正常な成長発育を障害する口腔疾患や異常などを治療したり、または予防し発育変化を適切に対応し長期管理を行う。小児とその保護者の特性を理解し適切な指導と支援があって初めて小児歯科としての役割を果たす。</li> </ul>						
<b>到達目標</b>						
<ol style="list-style-type: none"> <li>う蝕処置、咬合管理、早期治療、リコールを理解できる</li> <li>各種ブラッシング方法を理解できる</li> <li>小児の対応法を理解できる</li> </ol>						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>
1 小児歯科学概論・心身の発育 (発育段階と口腔の変化について概要的に学ぶ。また、身体発育の特徴および精神発達についても併せて学ぶ)						向山
2 小児の生理的特徴・顔面頭蓋の発育 (小児のバイタルサインと生理的特徴を学ぶ。また、顔面頭蓋の発育と歯の萌出との関係についても学ぶ)						〃
3 歯の発育とその異常・歯列咬合の発育と異常 (歯の発育(乳歯・乳若永久歯)および歯列・咬合の発育と異常を学ぶ)						〃
4 小児の歯科疾患 (小児にみられるう蝕と歯周疾患、軟組織の異常と疾患について学ぶ)						〃
5 小児期の特徴と歯科的問題点 (乳幼児期・学童期・思春期小児の特徴、留意点と歯科疾患について学ぶ)						〃
6 小児歯科における診療体系 (小児歯科診療の特徴とその実際について学ぶ)						〃
7 小児における患者との対応法・障害児の歯科治療 (小児歯科における患者との対応法と障害児歯科治療の留意点や対応法を学ぶ)						〃
8 診察・検査時の業務・う蝕予防 (小児歯科診療における診療・検査時の歯科衛生士の役割、う蝕の予防法と食生活指導について学ぶ)						〃
9 小児歯科診療における診療補助・小児の口腔保健管理・歯科診療室と器材の管理 (小児歯科診療の流れと歯科衛生士の役割を理解し、必要器材とその取扱いについて学ぶ) (年令区分に応じた口腔保健管理について学ぶ)						〃
10 総まとめ (小児歯科授業のまとめ、要点の確認)						〃
<b>教本・参考図書</b> 最新歯科衛生士教本 小児歯科				<b>評価方法</b> ・筆記試験 100点		
<b>留意事項</b>						

教科名	口腔外科	時期	2年 前期	担当者	京田 直人	実務・一般	歯科医師	
					白石 剛士	実務・一般	歯科医師	
川瀬 敬	実務・一般	歯科医師						
南田 秀之	実務・一般	歯科医師						
深瀬 寛也	実務・一般	歯科医師						
渡邊 佳子	実務・一般	歯科衛生士						
単位(時間数)	2 ( 40 )	形態	講義					
<b>概要</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>口腔外科治療の流れと診療上の注意点を理解し、安全で安心な歯科医療を提供する知識を学ぶ (京田)</li> <li>う蝕、歯周疾患以外に顎口腔領域に発生する、各種疾患に対する基本的な知識を学ぶ。また、口腔外科の処置の際に留意すべき全身疾患の種類や注意点について、基本的な知識を学ぶ (白石)</li> <li>口腔インプラント治療を理解する上で必要な知識、手技の概要を習得し、インプラント治療の特徴を学ぶ (川瀬)</li> <li>がん手術、心臓・循環器手術や臓器移植等の手術患者において、口腔衛生状態の管理が術後感染や肺炎等の合併症予防に有効であることを学ぶ(南田)</li> <li>災害時の保健医療活動を学ぶ (深瀬)</li> <li>口腔外科における歯科衛生士の関わりや基本的な小手術の術式を理解する (渡邊)</li> </ul>								
<b>到達目標</b>								
<ol style="list-style-type: none"> <li>バイタルサインの重要性と局所麻酔、精神鎮静法、全身麻酔の特徴がわかる (京田)</li> <li>救急蘇生法の理論を身につける (京田)</li> <li>それぞれの口腔外科小手術に必要な機械器具の特徴を理解する (京田)</li> <li>歯科・口腔外科疾患の治療に影響を与える全身疾患について、説明ができる (白石)</li> <li>口腔外科疾患の種類をあげて、大きく分類ができる (白石)</li> <li>各種口腔外科疾患の症状、治療法を説明できる。(白石)</li> <li>口腔インプラント治療の特徴を理解し、利点・欠点を説明できる (川瀬)</li> <li>インプラント治療における術式・介助の要件がわかる (川瀬)</li> <li>補綴方法およびメンテナンスの特徴や手技がわかる (川瀬)</li> <li>周術期口腔機能管理の流れがわかる(南田)</li> <li>手術前、後におけるトラブルや感染予防等の口腔管理を説明できる (南田)</li> <li>大規模災害時の保健医療対策を理解し、歯科保健活動を概説できる (深瀬)</li> <li>小手術の術式と留意点を理解し、患者指導ができる (渡邊)</li> </ol>								
<b>計画・(内容)</b>							<b>担当</b>	
1 歯科治療における歯科麻酔と患者管理							京田	
2 局所麻酔、精神鎮静法、全身麻酔							〃	
3 歯科治療時の局所的偶発症、全身的偶発症							〃	
4 救急蘇生法							〃	
5 [ 概論 (口腔外科疾患の定義、分類や歯科・口腔外科診療で問題となる基礎疾患について) 顎・口腔領域の先天異常と発育異常の基礎知識 (唇顎口蓋裂と顎変形症)							白石	
6 口腔外科治療の流れと口腔外科小手術							京田	
7 [ 口腔領域の損傷の基礎知識 (軟組織の外傷と骨折) 口腔粘膜病変の基礎知識 (口腔粘膜病変の種類と症状)							白石	
8 [ 口腔領域に症状を示す血液疾患の基礎知識 (血液疾患の種類と症状) 顎・口腔領域の嚢胞性疾患の基礎知識 (顎骨・軟組織に発生する嚢胞)							〃	
9 [ 顎・口腔領域の腫瘍(良性と悪性)および腫瘍類似疾患の基礎知識 (種類と症状) 唾液腺疾患の基礎知識 (唾液腺疾患の種類と症状)							〃	
10 [ 口腔領域の神経性疾患の基礎知識 (神経性疾患の種類と症状) 顎・口腔領域の炎症性疾患の基礎知識 (炎症性疾患の種類と症状)							〃	
11 口腔インプラント学の基礎知識							川瀬	
12 口腔インプラント治療 (診査・診断)							〃	
13 〃 (外科処置)							〃	
14 〃 (補綴処置)							〃	
15 周術期における口腔機能管理 (概要、病態、化学療法・放射線治療など)							南田	
16 口腔外科の診療補助 (小手術の術式と説明、使用機材) ①							渡邊	
17 口腔インプラント治療 (メンテナンス・合併症)							川瀬	
18 周術期における口腔機能の実際 (歯科介入、症例等)							南田	
19 災害時の保健医療活動 (災害時における検死の実例と作業内容、手順、東日本大震災時の保健活動の実例)							深瀬	
20 口腔外科の診療補助 (小手術の術式と説明、使用機材) ②							渡邊	
<b>教本・参考図書</b> 最新歯科衛生士教本 顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔 歯科補綴 インプラント入門				<b>評価方法</b> ・筆記試験 30点 ・筆記試験 30点 ・筆記試験 25点 ・筆記試験 10点 ・筆記試験 5点				【京田】 【白石】 【川瀬】 【南田】 【渡邊】
							合計 100点	
<b>留意事項</b>								

教科名	障がい者歯科	時期	2年 後期	担当者	藤巻 英里	実務・一般 歯科医師
単位(時間数)	1 ( 15 )	形態	講義		渡邊 恵里	実務・一般 歯科衛生士
<b>概要</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>身体的、知的あるいは精神的な障がいがある人に対し、不安や恐怖、リスクが伴う歯科治療が円滑に行えるよう、歯科衛生士として障がい児の身体的・心理的特徴と歯科治療を理解する(藤巻)</li> <li>障がい者歯科と地域医療連携の必要性と歯科衛生士の役割を学ぶ(渡邊)</li> <li>スペシャルニーズおよび障がいのある人と医療・福祉制度について学ぶ(渡邊)</li> </ul>						
<b>到達目標</b>						
<ol style="list-style-type: none"> <li>障がいの概念を理解し、その種類・歯科的特徴および歯科保健医療の留意点を説明できる(藤巻)</li> <li>障がい者(児)の歯科治療とその医療安全を理解し、保健・医療・福祉制度を説明できる(藤巻)</li> <li>地域医療連携の必要性が理解できる(渡邊)</li> <li>一次・二次・三次医療機関の役割と歯科衛生士の役割を説明できる(渡邊)</li> <li>障がい者のある人と福祉制度がわかる(渡邊)</li> </ol>						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>
1 代表的な障がいの特徴 (精神発達症・ダウン症)						藤巻
2 " (自閉スペクトラム症/ADHD/LD)						"
3 " (てんかん/脳性マヒ/重症心身障がい者)						"
4 " (筋ジストロフィー/脊髄小脳変性症/ALS/うつ病/視聴覚障がい/障がい児者の保健福祉制度)						"
5 国家試験過去問題 (障がい者歯科問題の考え方)						"
6 臨床における様々な障がい者(児)に対する症例検討会・発表						"
7 7章 地域における障がい者歯科(地域医療連携の必要性/一次・二次・三次医療機関と歯科衛生士の役割)						渡邊
8 1章 障がいの概念(障がいの分類/障がい者の医療・福祉制度)						"
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>		
最新歯科衛生士教本 障害者歯科 あだし研究				筆記試験(80点) 【藤巻】 筆記試験(20点) 【渡邊】 合計 100点満点		
<b>留意事項</b>						
配布されたプリントは予習復習となるため、指示に従い使用・保管すること(渡邊)						

教科名	高齢者・有病者歯科	時期	2年 前期	担当者	佐藤 雄治	実務・一般 歯科医師
単位(時間数)	1 ( 30 )	形態	講 義		渡邊 恵里	実務・一般 歯科衛生士
					山岸 有子	実務・一般 歯科衛生士
<b>概 要</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>介護保険制度の概要、高齢者の生活機能の評価を学ぶ(渡邊)</li> <li>高齢者に多い全身疾患と口腔疾患や口腔内の特徴を学ぶ(渡邊)</li> <li>高齢化社会を迎え、様々な疾患を有する患者の歯科治療を行う機会が増えている。本教科では、歯科治療時に注意を要する主な全身疾患についての知識を学習し、それらの患者の歯科治療を安全に行えるようにする知識を学ぶ(佐藤)</li> <li>高齢者の薬剤服用に関する事項、高齢者に対する口腔ケアの方法を学ぶ(山岸)</li> <li>義歯の取り扱いや清掃方法を学ぶ(山岸)</li> </ul>						
<b>到達目標</b>						
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 加齢に伴う心身機能・心理的な変化がわかる(渡邊)</li> <li>2 高齢者に多い口腔疾患や口腔内の特徴がわかる(渡邊)</li> <li>3 高齢者の生活機能の評価がわかる(渡邊)</li> <li>4 歯科治療時に注意を要する主な各臓器や全身的な疾患の症状や病状、治療法がわかる。(佐藤)</li> <li>5 全身疾患を有する患者の歯科治療時の注意点や対策、起こりうる併発症の予防策がわかる。(佐藤)</li> <li>6 有病者に対する鎮静法、静脈麻酔、全身麻酔などの行動管理法の有用性がわかる。(佐藤)</li> <li>7 要介護高齢者の口腔ケアの方法がわかる(山岸)</li> <li>8 義歯の取り扱いができる(山岸)</li> </ol>						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担 当</b>
1 介護保険制度・加齢に伴う身体的変化						渡 邊
2 高齢者に多い全身疾患・精神・心理的变化						〃
3 口腔・咽頭領域の加齢変化・高齢者特有の口腔疾患						〃
4 高齢者の生活機能の評価(ADL・認知機能)						〃
5 高齢者歯科と臨床検査(バイタルサイン・血液検査)						〃
6 全身疾患の基礎知識 (全身疾患の知識の必要性・口腔疾患との関わり)						佐 藤
7 各疾患の基礎知識と歯科治療における注意点① (代謝・内分泌疾患、消化器疾患、循環器疾患、血液疾患)						〃
8 各疾患の基礎知識と歯科治療における注意点② (吸収器疾患、整形外科疾患、腎・泌尿器疾患)						〃
9 各疾患の基礎知識と歯科治療における注意点③ (免疫疾患・膠原病、感染症、神経・精神疾患、産科・婦人科疾患)						〃
10 各疾患の基礎知識と歯科治療における注意点④ (がん治療と口腔の関わり、鎮静法、静脈麻酔、全身麻酔の方法とその有用性)						〃
11 高齢者の栄養状態・薬剤服用						山 岸
12 高齢者・有病者・要介護高齢者に対する口腔のケア						〃
13 知覚過敏・義歯における清掃法(義歯ブラシ・洗浄剤・安定剤)						〃
14 義歯における清掃法 演習(着脱方法・義歯ブラシ・洗浄剤・安定剤)						〃
15 義歯における清掃法 演習(着脱方法・義歯ブラシ・洗浄剤・安定剤)						〃
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>		
最新歯科衛生士教本 高齢者歯科				・筆記試験(30点) 【渡邊】		
最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論				・筆記試験(50点) 【佐藤】		
歯科衛生士のための全身疾患ハンドブック 配布プリント				・筆記試験(20点) 【山岸】		
				合計 100点		
<b>留意事項</b>						

教科名	口腔保健管理Ⅱ	時期	2年 前期・後期	担当者	永橋 茜 山岸 有子 千葉 佳鈴 渡邊 佳子	実務	歯科衛生士
単位(時間数)	4(160)	形態	講義・実技・演習				
<b>概要</b> 口腔の二大疾患であるう蝕・歯周病の原因について理解し、生涯を通じて、人々が健康を維持・増進するための予防法、技術を学ぶ。また、根拠に基づいた専門的支援、援助を行うことのできる指導法を身につけた「考える歯科衛生士」の育成を目指す。2年次は、歯肉縁下に対する歯面研磨・歯面清掃やキュレットスケーラーでのスケーリング、歯科衛生士過程を用いた歯科衛生介入、対象者のライフステージや全身状態など、歯周病のリスクファクターに対する個人指導の能力を身につける。							
<b>到達目標</b> 1.キュレットスケーラーを適切に操作できる 2.歯科衛生過程を用いた歯科衛生介入を実施できる 3.歯肉縁下の歯面研磨・歯面清掃を適切に実施できる 4.保健医療情報を収集できる 5.対象者に合わせた歯科衛生介入を実施できる							
<b>計画・(内容)</b>							<b>担当</b>
<b>前期</b> 1 概論(歯周病の原因・予防) 2 患者情報収集①(口腔内診査略称) 3 キュレットスケーラー(特徴、使用目的、種類、使用法) 4 患者情報収集③(歯周病菌検査) 5 患者情報収集②(口腔内診査・PCR 相互実習) 6 患者情報収集②(口腔内診査・PCR 相互実習) 7 キュレットスケーラーを使用したスケーリング ①(上下顎前歯部 マネキン演習) 8 キュレットスケーラーを使用したスケーリング ②(下顎臼歯部 マネキン演習) 9 キュレットスケーラーを使用したスケーリング ③(上顎臼歯部 マネキン実習) 10 症例別検討(歯肉炎・歯周炎) 11 歯科衛生過程①(6つの構成要素と考え方) 12 歯科衛生過程②(歯科衛生アセスメント:情報収集、情報の整理・分類、情報の解釈分析) 13 口腔清掃方法①(講義) 14 口腔清掃方法②(演習) 15 基本的なアシスタントワーク(患者誘導・口腔内診査の記入・歯周組織検査・バキューム・ライティング 相互実習) 16 基本的なアシスタントワーク(患者誘導・口腔内診査の記入・歯周組織検査・バキューム・ライティング 相互実習) 17 患者設定演習①(患者誘導・口腔内診査の記入・歯周組織検査・バキューム・ライティング・保健指導 相互実習) 18 患者設定演習①(患者誘導・口腔内診査の記入・歯周組織検査・バキューム・ライティング・保健指導 相互実習) 19 キュレットスケーラーを使用したスケーリング ④(実技試験) 20 歯科衛生過程③(問診、歯周組織検査、口腔内写真 相互実習) 21 歯科衛生過程③(問診、歯周組織検査、口腔内写真 相互実習) 22 歯科衛生過程③(問診、歯周組織検査、口腔内写真 相互実習) 23 歯科衛生過程④(データ入力・情報処理整理) 24 歯科衛生過程⑤(歯科衛生診断:情報の統合、診断のタイプ、診断文の作成、優先順位の決定) 25 超音波スケーラーを使用した歯石除去排唾管を使用したアシスタントワーク(全顎 相互実習) 26 超音波スケーラーを使用した歯石除去排唾管を使用したアシスタントワーク(全顎 相互実習) 27 歯科衛生過程⑥(計画立案:目標の設定、介入方法の決定) 28 歯科衛生過程⑦(計画立案:目標の設定、介入方法の決定 演習) 29 リーフレットを使用した患者指導①(歯周病) 30 歯周治療に活かせるエビデンス①(歯周病とプラークの関係)							千葉 永橋 千葉 永橋 永橋 永橋 千葉 千葉 千葉 千葉 永橋 永橋 山岸 山岸 永橋 永橋 千葉 千葉 千葉 山岸 山岸 山岸 永橋 永橋 永橋 永橋 永橋 山岸 千葉
※ 演習授業については、科目担当教員(永橋・山岸・千葉・渡邊)が指導を行う。							
<b>教本・参考図書</b> 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 最新歯科衛生士教本 歯・口の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学 第3版 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版				<b>評価方法</b> 前期 実技試験(10点) 筆記試験(90点) 合計100点 後期 筆記試験(100点)			
<b>留意事項</b> 配布されたプリント及び参考資料は、予習・復習に必要となるため、指示に従い使用・保管すること 演習の際は、積極的に参加すること 忘れ物(白衣・器具・器材)があった場合は、演習には参加できない 実技に関しては各自で自己練習をし、適切な操作ができるよう鍛錬すること 演習授業を欠席した場合は、後日補講を行う							



教科名	口腔保健管理Ⅱ	時期	2年 前期・後期	担当者	永橋 茜 山岸 有子 千葉 佳鈴 渡邊 佳子	実務	歯科衛生士
単位(時間数)	4(160)	形態	講義・実技・演習				
<b>概要</b> 口腔の二大疾患であるう蝕・歯周病の原因について理解し、生涯を通じて、人々が健康を維持・増進するための予防法、技術を学ぶ。また、根拠に基づいた専門的支援、援助を行うことのできる指導法を身につけた「考える歯科衛生士」の育成を目指す。2年次は、歯肉縁下に対する歯面研磨・歯面清掃やキュレットスケーラーでのスケーリング、歯科衛生士過程を用いた歯科衛生介入、対象者のライフステージや全身状態など、歯周病のリスクファクターに対する個人指導の能力を身につける。							
<b>到達目標</b> 1.キュレットスケーラーを適切に操作できる 2.歯科衛生過程を用いた歯科衛生介入を実施できる 3.歯肉縁下の歯面研磨・歯面清掃を適切に実施できる 4.保健医療情報を収集できる 5.対象者に合わせた歯科衛生介入を実施できる							
<b>計画・(内容)</b>							<b>担当</b>
31 歯周治療に活かせるエビデンス②(歯間部清掃用具・歯磨剤・洗口剤の成分と効果) 32 歯科衛生過程⑧(歯科衛生計画の実施:目標の共有、介入 相互実習) 33 歯科衛生過程⑧(歯科衛生計画の実施:目標の共有、介入 相互実習) 34 歯科衛生過程⑧(歯科衛生計画の実施:目標の共有、介入 相互実習) 35 歯科衛生過程⑨(歯科衛生評価:プロセスと結果の評価) 36 歯科衛生過程⑩(データ入力・情報処理整理・評価) 37 歯科衛生過程⑪(例題1 演習) 38 歯科衛生過程⑫(例題2 演習) 39 PMTC①(目的、使用器材と操作方法) 40 PMTC相互実習②(上下顎前歯部 相互実習) 41 PMTC相互実習②(上下顎前歯部 相互実習) 42 歯周組織検査(実技試験) 43 生活習慣の指導(非感染性疾患とストレスマネジメント) 44 キュレットスケーラーを使用したスケーリング⑤(上下前歯部 相互実習) 45 キュレットスケーラーを使用したスケーリング⑤(上下前歯部 相互実習) 46 歯周治療におけるリスクファクター①(喫煙) 47 リーフレットを使用した患者指導②(喫煙) 48 キュレットスケーラーを使用したスケーリング⑥(上下臼歯部 相互実習) 49 キュレットスケーラーを使用したスケーリング⑥(上下臼歯部 相互実習) 50 キュレットスケーラーのシャープニング(原則および目的、方法、演習) 51 キュレットスケーラーのシャープニング(原則および目的、方法、演習) 52 歯周治療におけるリスクファクター②(妊産婦) 53 リーフレットを使用した患者指導③(妊産婦) 54 歯周治療におけるリスクファクター③(糖尿病・高血圧・骨粗鬆症) 55 リーフレットを使用した患者指導④(糖尿病・高血圧・骨粗鬆症) 56 歯周治療におけるリスクファクター④(高齢者の口腔内の特徴) 57 リーフレットを使用した患者指導⑤(老化に伴う口腔変化) 58 患者設定演習②(プロービング、キュレットスケーラーを使用したスケーリング 相互実習) 59 患者設定演習②(プロービング、キュレットスケーラーを使用したスケーリング 相互実習) 60 患者設定演習③(1人術者での超音波スケーラーを使用したスケーリング 相互実習)							山岸 山岸 山岸 山岸 永橋 永橋 永橋 永橋 千葉 千葉 千葉 永橋 永橋 永橋 千葉 千葉 山岸 山岸 千葉 千葉 山岸 山岸 千葉 千葉 山岸 山岸 山岸 千葉 千葉 千葉 永橋 永橋 千葉 千葉 山岸 山岸 山岸 千葉 千葉 永橋
※ 演習授業については、科目担当教員(永橋・山岸・千葉・渡邊)が指導を行う。							
<b>教本・参考図書</b> 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 最新歯科衛生士教本 歯・口の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学 第3版 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版				<b>評価方法</b> 前期 実技試験(10点) 筆記試験(90点) 合計100点 後期 筆記試験(100点)			
<b>留意事項</b> 配布されたプリント及び参考資料は、予習・復習に必要となるため、指示に従い使用・保管すること 演習の際は、積極的に参加すること 忘れ物(白衣・器具・器材)があった場合は、演習には参加できない 実技に関しては各自で自己練習をし、適切な操作ができるよう鍛錬すること 演習授業を欠席した場合は、後日補講を行う							

教科名	口腔保健管理Ⅱ	時期	2年 前期・後期	担当者	永橋 茜 山岸 有子 千葉 佳鈴 渡邊 佳子	実務		歯科衛生士	
単位(時間数)	4(160)	形態	講義・実技・演習						
<b>概要</b> 口腔の二大疾患であるう蝕・歯周病の原因について理解し、生涯を通じて、人々が健康を維持・増進するための予防法、技術を学ぶ。また、根拠に基づいた専門的支援、援助を行うことのできる指導法を身につけた「考える歯科衛生士」の育成を目指す。2年次は、歯肉縁下に対する歯面研磨・歯面清掃やキュレットスケーラーでのスケーリング、歯科衛生士過程を用いた歯科衛生介入、対象者のライフステージや全身状態など、歯周病のリスクファクターに対する個人指導の能力を身につける。									
<b>到達目標</b> 1.キュレットスケーラーを適切に操作できる 2.歯科衛生過程を用いた歯科衛生介入を実施できる 3.歯肉縁下の歯面研磨・歯面清掃を適切に実施できる 4.保健医療情報を収集できる 5.対象者に合わせた歯科衛生介入を実施できる									
<b>計画・(内容)</b>								<b>担当</b>	
61 患者設定演習③(1人術者での超音波スケーラーを使用したスケーリング 相互実習) 62 地域歯科保健指導活動における健康教育(概要・進め方) 63 地域歯科保健指導活動のフィールド①(保育園、幼稚園、小・中・高等学校) 64 地域歯科保健指導活動のフィールド②(事業所、保健所、市町村保健センター、地域、病院、施設) 後期 65 ライフステージ 要介護高齢者(一般的特徴、口腔の特徴、歯科保健指導) 66 高齢者の歯周病(症例検討) 67 口腔の機能的問題の把握(観察による評価:口腔機能・嚥下機能) 68 口腔機能管理に関わる指導(口腔機能の発達・低下) 69 高齢者・要介護高齢者の口腔ケア(目的、方法、ケアを行う際の留意点) 70 高齢者・要介護高齢者の口腔ケア①(症例①アセスメント、計画立案) 71 高齢者・要介護高齢者の口腔ケア②(症例②アセスメント、計画立案) 72 高齢者・要介護高齢者の口腔ケア③(口腔ケア 相互実習) 73 高齢者・要介護高齢者の口腔ケア③(口腔ケア 相互実習) 74 歯周組織の構造と機能(構成要素・機能) 75 病因論(う蝕・歯周病) 76 歯周病のリスクファクター(各因子) 77 国家試験対策①(歯磨剤・洗口剤・口腔清掃法) 78 国家試験対策②(各ライフステージ) 79 国家試験対策③(患者設定問題1) 80 国家試験対策④(患者設定問題2)								永橋 山岸 山岸 山岸  山岸 千葉 渡邊 渡邊 山岸 山岸 渡邊 山岸 山岸 千葉 永橋 千葉 永橋 千葉 永橋 千葉	
※ 演習授業については、科目担当教員(永橋・山岸・千葉・渡邊)が指導を行う。									
<b>教本・参考図書</b> 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 最新歯科衛生士教本 歯・口の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学 第3版 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版				<b>評価方法</b> 前期 実技試験(10点) 筆記試験(90点) 合計100点 後期 筆記試験(100点)					
<b>留意事項</b> 配布されたプリント及び参考資料は、予習・復習に必要となるため、指示に従い使用・保管すること 演習の際は、積極的に参加すること 忘れ物(白衣・器具・器材)があった場合は、演習には参加できない 実技に関しては各自で自己練習をし、適切な操作ができるよう鍛錬すること 演習授業を欠席した場合は、後日補講を行う									

教科名	摂食嚥下	時期	2年 後期	担当者	伊藤 正明	実務・一般 歯科医師
単位(時間数)	1 ( 15 )	形態	講義			
<b>概要</b> ・摂食嚥下機能についてのメカニズム、機能障害、リハビリテーションについての理解を深める。						
<b>到達目標</b> 1 摂食嚥下の基礎について学び、理解できる 2 摂食嚥下障害について各ライフステージについて説明できる 3 摂食嚥下障害の診査・診断を理解する 4 摂食嚥下リハビリテーションの方法と歯科衛生士の役割						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>
1 摂食嚥下リハビリテーション総論						伊藤
2 摂食嚥下障害者への口腔管理と制度の理解						〃
3 摂食嚥下機能のメカニズム						〃
4 摂食嚥下機能に関する管理						〃
5 摂食嚥下障害について						〃
6 摂食嚥下の診査・診断						〃
7 摂食嚥下訓練						〃
8 病院歯科における歯科衛生士の役割						〃
<b>教本・参考図書</b> 医歯薬出版 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション				<b>評価方法</b> 筆記試験 100点		
<b>留意事項</b>						



教科名	口腔リハビリテーション	時期	2年後期	担当者	野村 昌邦	実務・一般 言語聴覚士
単位(時間数)	1(20)	形態	講義・演習		三浦 伸子	実務・一般 歯科衛生士
<b>概要</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>摂食嚥下障害についての基礎知識を学ぶ。また、歯科衛生士が必要とする摂食嚥下リハビリテーションの評価や訓練法を理解し知識や技術を学ぶ。(野村)</li> <li>摂食リハビリテーションにおける歯科衛生士としての専門性を高めるための知識・技術・態度を学ぶ。(三浦)</li> <li>多職種と協働して口腔ケアを行う上での歯科衛生士としての果たすべき役割を考える。(三浦)</li> </ul>						
<b>到達目標</b>						
<ol style="list-style-type: none"> <li>摂食嚥下障害がわかる(野村)</li> <li>摂食嚥下障害に関わる機能がわかる(野村)</li> <li>摂食嚥下運動の各ステージの役割が分かる(野村)</li> <li>摂食嚥下機能に関わるスクリーニング検査を説明できる(野村)</li> <li>摂食嚥下障害に対応した訓練内容を理解し実施できる(野村)</li> <li>摂食嚥下障害のケースをみて障害を理解できる(野村)</li> <li>摂食嚥下リハビリテーションにおける歯科衛生ケアプロセスの概念がわかり計画立案ができる(三浦)</li> <li>摂食嚥下リハビリテーションにおける歯科衛生士としての専門的口腔ケア計画に基づき介入ができる(三浦)</li> <li>摂食嚥下リハビリテーションにおける栄養管理がわかる(三浦)</li> <li>口腔機能低下症がわかる(三浦)</li> </ol>						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>
1 摂食嚥下に関わる器官について(障害と原因)						野村
2 摂食嚥下運動の各ステージについて(嚥下モデルを理解する)						〃
3 摂食嚥下リハビリテーション①(摂食嚥下障害の観察と評価)						〃
4 摂食嚥下リハビリテーション②(訓練法・実技指導)						〃
5 摂食嚥下リハビリテーション③(症例紹介)						〃
6 摂食嚥下リハビリテーションにおける連携(リハビリテーションとチームアプローチについて)						〃
7 栄養管理						三浦
8 口腔機能低下症						〃
9 摂食嚥下リハビリテーションにおける歯科衛生課程(歯科衛生士ケアプロセスに基づいた摂食嚥下リハビリテーションの考え方) 歯科衛生士が行う口腔ケア(アセスメント、計画立案)演習						〃
10 歯科衛生士が行う口腔ケア(介入)演習						〃
<b>教本・参考図書</b> 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション				<b>評価方法</b> 筆記試験60点【野村】 筆記試験40点【三浦】 合計 100点		
<b>留意事項</b> 授業は指定した教科書と配布プリントで行います(野村) 2～5回は前回授業の確認問題を行います(野村) 実技を行う場合は積極的に参加すること(野村) グループワーク及び発表には積極的に参加すること(三浦) 忘れ物(白衣・器具・器材)をした場合、演習に参加できません。(三浦)						

教科名	診療補助Ⅱ	時期	2年 前期・後期	担当者	渡邊恵里 三浦伸子 渡邊佳子	実務 歯科衛生士
単位(時間数)	2 ( 80 )	形態	講義・演習			
<b>概要</b>						
<p>様々な、ライフステージにおける診療内容に対する介助や直接行為の基礎的な知識と技術を習得することで診療行為の集約をはかり診療の効率化に大きく寄与することができる能力と、実践力を養う。</p> <p>2年生では、各専門分野での様々な歯科治療の流れを理解した上でのアシスタントワーク、対面行為を学ぶ。</p> <p>診療の円滑化・効率化に寄与する為の知識・技術・態度を習得し、臨床実習に対応できる能力を養う。</p> <p>全身疾患を持つ患者に対応する知識を学ぶ。</p>						
<b>到達目標</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・シリコンラバー印象の手順の説明、使用器材の準備ができる。</li> <li>・補綴の診療補助のそれぞれ流れの説明、使用器材の準備ができる。</li> <li>・口腔外科の器具・器材の説明、取り扱いができる。</li> <li>・口腔外科の流れにあった準備ができる。</li> <li>・各種材料の取り扱いができる。</li> <li>・保存修復の診療補助の手順の説明と準備ができる。</li> <li>・全身疾患を持つ患者に対応する知識を身につける。</li> <li>・小児の治療に必要な器具・器材の取り扱いと対応ができる。</li> <li>・障がい者歯科の抑制的対応と行動療法がわかる。</li> <li>・義歯の取り扱いと作成の流れがわかる。</li> </ul>						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>
前期						
1 材料の取り扱い(シリコンラバー印象材講義)						渡邊
2 材料の取り扱い(シリコンラバー印象材・個人トレー作製用印象採得)						渡邊
3 材料の取り扱い(シリコンラバー印象材印象採得)						渡邊
4 補綴の診療補助(個人トレーの作製)						渡邊
5 補綴の診療補助(個人トレーでのラバー印象、筋形成)						渡邊
6 患者資料の収集(口腔内規格写真 9枚法)						渡邊
7 患者資料の収集(口腔内規格写真 // データ処理)						渡邊
8 矯正歯科の診療補助(矯正用器材と取り扱い)						三浦
9 矯正歯科の診療補助(矯正用器材と取り扱い)						三浦
10 矯正歯科の診療補助(矯正用器材と取り扱い、患者指導)						三浦
11 矯正歯科の診療補助(ダイレクトボンディング法実習)						渡邊
12 矯正歯科の診療補助(結紮法実習)						渡邊
13 口腔外科の診療補助(抜歯準備・使用器材)						渡邊
14 口腔外科の診療補助(抜歯準備・使用器材)						渡邊
15 口腔外科の診療補助(麻酔の種類、縫合・使用器材)						渡邊
16 口腔外科の診療補助(小手術の使用器材)						三浦
17 口腔外科の診療補助(小手術の使用器材)						三浦
18 歯周治療の診療補助(歯周外科の術式、流れと使用器材)						渡邊
19 歯周治療の診療補助(歯周外科の術式、流れと使用器材)						渡邊
20 各種トレーセッティング						渡邊
21 各種トレーセッティング						渡邊
22 補綴の診療補助(暫間被覆冠作製①)						三浦
23 補綴の診療補助(暫間被覆冠作製②)						三浦
24 各種トレーセッティング確認						渡邊
25 各種トレーセッティング確認						渡邊
26 共同動作の基本(バキュームテクニック)						渡邊
27 補綴の診療補助(各種パー・ポイント)						三浦
28 仮封材取り扱い(受け渡し演習)						三浦
29 補綴の診療補助(義歯作成の流れ 全額・片顎)						渡邊
30 補綴の診療補助(義歯調整・リベース・リライン)						渡邊
31 補綴の診療補助(暫間被覆冠作製③)						三浦
32 補綴の診療補助(暫間被覆冠作製④)						三浦
後期						
33 全身疾患をもつ患者と歯科診療補助①(口腔内の特徴と注意点)						三浦
34 全身疾患をもつ患者と歯科診療補助②(口腔内の特徴と注意点)						三浦
35 全身疾患をもつ患者と歯科診療補助③(口腔内の特徴と注意点)						三浦
36 歯科医療における診療補助(特別な配慮が必要な患者対応)						三浦
37 口腔ケア						渡邊
38 口腔ケア						渡邊
39 障がい者歯科・小児歯科の診療補助(抑制的対応と行動療法)						渡邊
40 障がい者歯科・小児歯科の診療補助(抑制的対応と行動療法)						渡邊
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>		
最新歯科衛生教本 歯科診療補助第2版				最新歯科衛生教本 歯科材料		
最新歯科衛生教本 歯科器機				最新歯科衛生教本 歯科補綴第2版(※)		
最新歯科衛生教本 矯正歯科(※)				最新歯科衛生教本 口腔外科・歯科麻酔(※)		
				【前期】筆記試験 70点		
				実技試験 30点		
				【後期】筆記試験 100点		
				合計100点		
				合計100点		
<b>留意事項</b>						
グループワーク及び発表には積極的に参加すること						
授業時間内に確認問題を行う場合あり						
忘れ物(白衣・器具・器材)をした場合、演習に参加できません。						
実習室で実習の場合は、演習前には始業点検を終了しておくこと						
教本 (※)矯正歯科、口腔外科・歯科麻酔、歯科補綴、小児歯科、障がい者歯科 授業の際に使用 (その他指示された教本を準備すること)						

教科名	看護学	時期	2年 前期	担当者	大上 育子	実務・一般 看護師
単位(時間数)	1 ( 30 )	形態	講義・演習		富樫 信	実務・一般 臨床検査技師
<b>概要</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>看護学を通し、チーム医療の機能と専門職の役割を学ぶ。(大上)</li> <li>また対象者の全身状態を把握し、健康状態や発達段階に合った安全な対応を学ぶ。(大上)</li> <li>歯科診療にあたり、患者の全身状態を把握することが重要である。患者の全身状態は臨床検査結果に反映されることから臨床検査に関し正しく理解することが必須であり、講義を通じて習得する。(富樫)</li> </ul>						
<b>到達目標</b>						
<ol style="list-style-type: none"> <li>バイタルサインの正常値と、異常時の状態が理解できる (大上)</li> <li>発達段階にあった対象への接し方がわかる (大上)</li> <li>高齢者の特徴、在宅サービスが理解できる (大上)</li> <li>病院の体制とチーム医療の役割が理解できる (大上)</li> <li>多岐にわたる臨床検査は大別して心機能検査や超音波検査等の生理機能検査と肝機能検査、血液検査、病理検査等の検体検査があり、歯科診療を受ける患者の健康状態把握に必要な検査の種類や臨床的意義等を習得する。(富樫)</li> </ol>						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>
1 看護とは・病院の機能 (看護の歴史・看護師の役割・病院の種類や機能)						大上
2 地域医療と看護 (保健・医療・福祉チームとの連携・在宅医療・介護保険)						〃
3 バイタルサイン (バイタルサインの意味 意識レベル・ショック・救急時の特徴)						〃
4 コミュニケーション (目的と方法 発達段階に合った接し方・高齢者の特徴)						〃
5 演習 (血圧・脈・呼吸・体温測定)						〃
6 疾患をもつ対象との関わり (糖尿病・脳梗塞・虚血性心疾患患者のケアのポイント)						〃
7 与薬・感染対策・医療安全 (与薬方法 感染予防 患者の安全・安楽)						〃
8 臨床検査の世界 (パワーポイントで作成した資料用いて検査を行っている現場を紹介・・・検査実施から報告されるまで)						富樫
9 臨床検査とは (誰がどのように検査を行っているのか、種々の生理機能検査や検体検査の概要を説明)						〃
10 生体検査 (脈拍、血圧、心機能、肺機能、超音波など)						〃
11 血液検査 (血液一般検査、凝固検査、線溶系検査など)						〃
12 生化学検査 (肝機能、腎機能、糖代謝、免疫・血清など)						〃
13 血液型・感染症検査 (ABO式・Rh式、HBV, HCV等の感染症検査など)						〃
14 病理検査 (病理組織検査、細胞診検査など)						〃
15 主な疾患・病態別検査値のとらえ方～こんな患者が来院したら～						〃
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>最新歯科衛生士教本 臨床検査</li> <li>歯科衛生士のための看護学大意</li> </ul>				筆記試験(50点) 【大上】 筆記試験(50点) 【富樫】 合計 100点		
<b>留意事項</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業終了前に振り返りプリントを行い、その日の授業の要点を確認すること (大上)</li> <li>授業後は教科書・プリントを再読し復習すること (大上)</li> <li>授業終了前に確認問題を提示し、知識の整理や要点を確認し習得の効率化を図る。確認問題は繰り返し行い、知識を身につけるよう努めること(富樫)</li> </ul>						

教科名	介護概論	時期	2年 後期	担当者	藤澤 千栄子	実務・一般 介護福祉士
単位(時間数)	1 ( 15 )	形態	講義・演習		東 清美	実務・一般 主任ケアマネジャー
					前多 真紀子	実務・一般 歯科衛生士
<b>概要</b> ・介護の対象の理解とニーズ、介護者のあり方について学ぶ。(藤澤) ・地域で高齢者を支えるために必要な保健・医療・介護について基本的な知識を得る。(東) ・通所介護施設での実例を基に、口腔機能評価と訓練の方法を学ぶ。(前多)						
<b>到達目標</b> 1 利用者の日常生活の理解、価値観の尊重を理解する(藤澤) 2 介護保険制度を理解し、高齢者の自立支援に向けたサポートについて理解する(東) 4 口腔機能訓練をするためのコミュニケーションのとり方を身につける(前多)						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>
1 利用者との信頼関係の築き方 (コミュニケーションの必要性、ニーズの把握、日常生活の理解)						藤澤
2 演習 (グループワークによる問題点の取りまとめ発表)						〃
3 介護の概念・対象者理解 (介護の歴史・老いのとらえ方・障害のとらえ方)						東
4 介護保険制度の概要 (介護保険制度の目的・仕組みについて・利用の流れ・インフォーマルサービスについて)						〃
5 〃 〃						〃
6 演習 介護予防ケアマネジメントの作成(グループワーク)						〃
7 〃 〃						〃
8 通所介護における歯科衛生士の役割 (他職種との連携、高齢者の口腔機能向上の支援)						前多
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>		
介護概論・基礎介護技術 共栄出版株式会社 レジュメ				筆記試験 (20点) 【藤澤】 筆記試験 (70点) 【東】 筆記試験 (10点) 【前多】 合計 100点		
<b>留意事項</b> グループワークには積極的に取り組むこと (藤澤)						

教科名	介護技術	時期	2年 後期	担当者	大野 しのぶ	実務・一般	介護福祉士
単位(時間数)	1 ( 40 )	形態	講義・演習		藤澤 千栄子	実務・一般	介護福祉士
					三浦 伸子	実務・一般	歯科衛生士
<b>概要</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>要介護者に対してのレクリエーションの考案・準備から実践までの流れを体験しながら、より良いコミュニケーションの方法を学ぶ (大野)</li> <li>要介護者の気持ちを学び、コミュニケーションの方法を考える(大野)</li> <li>安全で安楽、自立に向けたコミュニケーション方法を学ぶ(藤澤)</li> <li>突然のけがや病気に対応できる応急手当について、また質の高い救命処置を実施できるための知識、技術、態度を学ぶ(三浦)</li> </ul>							
<b>到達目標</b>							
<ol style="list-style-type: none"> <li>レクリエーションを体験・実践する事で、より良い挨拶や声かけが出来るようになる(大野)</li> <li>要介護者の気持ちを考えながらコミュニケーションをとることができるようになる(大野)</li> <li>利用者との信頼関係の必要性和コミュニケーション方法を学ぶ(藤澤)</li> <li>迅速かつ正確に、有効な心肺蘇生を行うことができる(三浦)</li> <li>安全にAEDを使用できる(三浦)</li> </ol>							
<b>計画・(内容)</b>							<b>担当</b>
1 挨拶・声かけの方法を学ぶ (声の出し方や聞こえ方を体験する為、自己紹介や声かけの実践)							大野
" (認知症の方とのコミュニケーションを考える)							
2 レクリエーション工作体験 (作業を通して、障害のある方の不便さを体験し、援助方法を考える)							"
レクリエーションの考案 (グループワークにて機能回復や維持につながるレクリエーションを考える)							
3 レクリエーション準備・実践 (グループごとに発表・実践)							"
4 " "							"
5 ベッドメイク (清潔で寝心地よく、見た目にも美しいベッド(コーナー)作り)							藤澤
6 " (臥床している状態での安全なシーツ交換(転落防止、コミュニケーション))							"
7 体位、姿勢変換の介助 (体を楽にし、変形を防げる移動、体位変換)							"
8 " (事前に声かけし、介助の内容を説明し同意を得ることで利用者の不安解消)							"
9 食事の介護 (安全な摂取姿勢、角度、マヒ、表情の確認)							"
10 " (出来るだけ自分で食べられるように援助、安全に食事を摂って頂く)							"
11 車イス移乗介助 (車イスの取扱い、各部名称説明、ベッドから車イスへ移乗)							"
12 " (段差昇降、手足の巻き込み、声かけ、移動時のスピード)							"
13 " (車イスからユニットへの移乗介助、声かけ、コミュニケーション)							"
14 衣服の着脱 (患側、健側の確認、声かけによる安全な介助)							"
15 排泄・尿失禁の介助 (オムツの説明)							"
16 視覚障害及び肢体不自由者の介護							"
(体験装具を着用しての歩行介助、視覚の変化、聴覚変化の確認介助者の位置、声かけ、コミュニケーション)							
17 視覚障害及び肢体不自由者の介護							"
(体験装具を着用しての歩行介助、視覚の変化、聴覚変化の確認介助者の位置、声かけ、コミュニケーション)							
18 組合せによる実技コミュニケーション・確認							"
19 応急手当の基礎知識、救急処置、ファーストエイド (目的と必要性)							三浦
20 救命処置 (心配蘇生とAED使用について)							"
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>			
共栄出版株式会社 介護概論・基礎介護技術				実技試験(技術・コミュニケーション・危険行為の有無)			
				50点 【藤澤】			
				筆記試験 50点 【三浦】 合計 100点			
<b>留意事項</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>グループワークでは授業内容と無関係の話は慎む事 (大野)</li> <li>授業内な私語を慎み、内容を理解するために意欲的に取り組むこと (藤澤)</li> <li>180分受講、効果測定80%以上で普通救命講習修了証を授与する (三浦)</li> </ul>							

教科名	臨地・臨床実習	時期	2年	担当者	実習指導者 (登録者)	実務	歯科医師 歯科衛生士
単位(時間数)	8 ( 360 )	形態	実習				
<b>概要</b>							
<p>学校内で習得した知識や技術を、臨床の場において実践できる能力を養う。特に歯科衛生士の三大業務である『歯科予防処置』『歯科保健指導』『歯科診療補助』の理解を深める。            歯科医療の実際を学び、専門職になるための意欲を高める。</p>							
<b>到達目標</b>							
<p>(1) 診療の流れを把握し症例に応じた診療補助・介助ができる            (2) 歯周病・う蝕予防におけるプロフェッショナルケアを習得する            (3) 保健指導の場面において指導内容を分析し、問題解決の方法を予測する            (4) 臨床の場における対人場面を学び、コミュニケーションスキルやホスピタリティマナーを身につける            (5) 臨機応変さを身につけ、先を読んだ行動ができる</p>							
<b>計画・(内容)</b>							<b>担当</b>
<p>臨地・臨床実習            函館市内、近郊の歯科診療所での実習</p> <p>9月～12月 60日間 1日平均6時間</p>							
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>			
				<p>・OSCE(客観的臨床能力試験)による評価 30点            合計点が6割に満たない場合や全ての試験項目が不合格となった場合は、再試験に合格することで6割の点数である18点とする            ・歯科診療所院長・担当歯科衛生士による評価 70点            (3件の歯科診療所の平均点)            取り組み(意欲・積極性)、態度、コミュニケーション、            記録、基礎知識、技術            合計100点満点</p>			
<b>留意事項</b>							
<p>登院試験として、OSCE(客観的臨床能力試験)を実施する。各試験項目ごとに、A[できる]、B[ある程度できる]、C[要指導・訓練]の評価とし、A・Bを合格、Cを不合格とする。不合格の場合、再試験を行う。なお、再試験が不合格だった場合は登院延期とする。            履修済みの臨床科目については復習しておくこと。また、実習期間中はアルバイトを入れないほうが好ましい。            実習記録については、実習先の歯科診療所で見学した内容を記録すること。            体調管理を心がけること。欠席・遅刻・早退し実習時間が不足した場合は、公欠・忌引に関わらず補講実習を行う。            合計点が60点に満たない場合は、再実習を行う。</p>							



教科名	学級コミュニケーション	時期	2年前後期	担当者	永橋 茜	実務	歯科衛生士
単位(時間数)	1 (40)	形態	講義・演習		専任教員		
<b>概要</b> エンカウンター、QU、一般教養などを通じて豊かな人間性と社会性を育む 定期試験、オスキー合格に向けての方策を立て、クラス一丸となり協力し学ぶ 1,3年生との交流を図り、親睦を深めるために中心となり学校行事等の内容を企画・準備する							
<b>到達目標</b> コミュニケーションスキル、ホスピタリティマナーを身につける 定期試験、オスキー合格に向けた学習方法が分かる 中心学年として行事等でリーダーシップを発揮できる 円滑な人間関係を構築するために他者を理解できる							
<b>計画・(内容)</b>							<b>担当</b>
1 クラス目標(KJ法)、個人目標設定(1年次の反省に基づき設定する) 2 春のレクリエーションについて(内容、グループ分け)・歯科衛生士会について 3 オスキー・臨床実習について(心構え等) 4 人間関係・SNSについて(DVD鑑賞にて医療人としての自覚を持つ) 5 1・2年生合同スポーツレクリエーションについて(内容、グループ分け) 6 エンカウンターにて自己研鑽について学ぶ ・QU1回目 7 状況に応じたSL(その時期に一番必要と思われる内容を実施する) 8 状況に応じたSL(その時期に一番必要と思われる内容を実施する) 9 スポーツレクリエーションについて(進捗状況確認、作業) 10 状況に応じたSL(その時期に一番必要と思われる内容を実施する) 11 スポーツレクリエーションについて(進捗状況確認、作業) 12 スポーツレクリエーション反省・QU2回目 13 学習計画(定期試験準備、学習ファイル記入) 14 試験後の見直し 15 決意式・激励会準備 16 学習計画(定期試験、国家試験にむけた対策) 17 研修旅行について(スケジュール、グループ分け) 18 歓送会について(企画等) 19 歓送会について(準備等) 20 研修旅行について(障がい者センターについてのグループ学習等)							
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b> 定期試験 なし 単位修得のための出席確認 (欠席の場合、レポート提出)			
<b>留意事項</b> グループワーク及び発表には積極的に参加すること。 行事では積極的に行動し、楽しむこと。また、全員が楽しめるよう周囲の状況をよく観察し工夫すること。 学校行事の準備はクラス全員で協力し合うこと。 最低、月に一度は5Sを実施し清潔に心がけること。							

教科名	課題研究	時期	2年 後期	担当者	奥 ひろみ	実務・一般 歯科衛生士
単位(時間数)	1 ( 30 )	形態	講義		専任教員	実務・一般 歯科衛生士
<b>概要</b>						
<p>歯科衛生の実践に根ざした学術研究は、歯科衛生業務を確立し、発展させるために欠かせないことである。歯科衛生研究の目的である、歯科衛生業務に関する疑問・課題について研究し、知識や理論を導き出すことについて、その方法や手順、留意点を理解したうえで研究成果の発表までをグループとして取り組むことにする。</p> <p>なお、授業は2年後期～3年前期まで継続して学び、準備、研究、まとめ、発表と進めていく。</p>						
<b>到達目標</b>						
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯科衛生業務における研究の重要性がわかる。</li> <li>2. 研究の種類と方法、留意点について説明できる</li> <li>3. 研究の進め方について概説できる</li> <li>4. 研究テーマを設定できる</li> <li>5. 研究計画書を作成できる</li> </ol>						
<b>計画・(内容)</b>						
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究とは何か・歯科衛生業務における研究の意義（専門職に研究が必要となってきた背景と、歯科衛生士が研究する意義）</li> <li>2. 研究方法の種類について（調査研究、実験研究、文献研究、症例研究の4種について学ぶ）</li> <li>3. 歯科衛生士が行う主な研究方法（4種の研究法に基づいた歯科衛生士による研究論文を紹介する）</li> <li>4. 研究における留意点（研究と医療倫理の関わりや倫理的配慮の要件など、研究するうえで留意する事項について学ぶ）</li> <li>5. 文献とは？文献の質について（身近にある文献から、研究に役立つレベル、質について学ぶ）</li> <li>6. 文献検索の方法について（インターネット、図書館から文献を集める方法と文献クリティークのポイントについて学ぶ）</li> <li>7. 演習：研究論文を読む（実際に研究論文を読んで、研究の方法、進め方、まとめ方等について）</li> <li>8. 演習：研究論文を読む（実際に研究論文を読んで、研究の方法、進め方、まとめ方等について）</li> <li>9. 研究メンバーを決める</li> <li>10. 研究テーマの設定・目的および研究方法について（研究テーマを設定し、その目的にあった方法を検討する）</li> <li>11. 研究テーマの設定・目的および研究方法について（研究テーマを設定し、その目的にあった方法を検討する）</li> <li>12. 演習：文献検索（検索により先行研究から情報を総括し、知識を深めるとともに重複を防ぐ）</li> <li>13. 演習：文献検索（検索により先行研究から情報を総括し、知識を深めるとともに重複を防ぐ）</li> <li>14. 研究計画書の作成（グループによる課題研究の計画書を作成する）</li> <li>15. 研究計画書の作成（グループによる課題研究の計画書を作成する）</li> </ol>						
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>		
				研究計画書の採点（優・良・可・不可）		
<b>留意事項</b>						
<p>グループディスカッションの際には、積極的に参加すること グループ内では必ず協議にて決定し、多数決を禁ずる</p>						





3年生



# 教育課程

分野	教育内容	学科目	単位数	時間数	1年	2年	3年
基礎	科学的思考の基礎	生物	2	30	30		
		情報処理	2	30	30		
		衛生統計	1	15		15	
	人間と社会の理解	英語コミュニケーション	1	20	20		
		心理学Ⅰ	1	20	20		
		心理学Ⅱ	1	20		20	
		国語表現	2	30	30		
小計		10	165	130	35		
専門基礎	人体(歯と口腔を除く)の構造と機能	解剖・生理	3	45	45		
		生化学	1	15	15		
	歯・口腔の構造と機能	口腔組織	1	15	15		
		口腔生化学	1	15	15		
		口腔解剖	2	30	30		
		歯牙解剖	1	15	15		
		口腔生理	1	15	15		
	疾病の成り立ちと回復の促進	病理学	2	30	30		
		薬理学	2	30		30	
		微生物学	2	30	30		
	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会のしくみ	保健生態学Ⅰ	2	30	30		
		保健生態学Ⅱ	3	45		15	30
		衛生行政	1	15			15
		社会福祉	1	15			15
小計		23	345	240	45	60	
専門	歯科衛生士概論	歯科衛生学総論	1	15	15		
		歯科医療倫理	1	15		15	
	臨床歯科医学	保存修復	1	20	20		
		歯内療法	1	20	20		
		歯周疾患	1	30	30		
		放射線	1	30		30	
		歯科補綴	1	30		30	
		矯正歯科	1	30		30	
		小児歯科	1	20		20	
		口腔外科	2	40		40	
		障がい者歯科	1	15		15	
		高齢者・有病者歯科	1	30		30	
	歯科予防処置論	口腔保健管理Ⅰ	5	200	200		
		口腔保健管理Ⅱ	4	160		160	
	歯科保健指導論	口腔保健管理Ⅲ	2	80			80
		栄養指導	1	30			30
		摂食嚥下	1	15		15	
		口腔リハビリテーション	1	20		20	
		地域包括ケア	1	15			15
	歯科診療補助論	診療補助Ⅰ	3	120	120		
診療補助Ⅱ		2	80		80		
診療補助Ⅲ		1	40			40	
看護学		1	30		30		
介護概論		1	15		15		
介護技術		1	40		40		
臨地・臨床実習	臨地・臨床実習	20	900	90	360	450	
小計		57	2040	495	930	615	
選択必修	選択・必修分野	接遇・マナー	1	15	15		
		体育	1	40	40		
		歯科医療事務	2	40			40
		学級コミュニケーション	4	160	80	40	40
		課題研究	2	60		30	30
		総合講義	4	120			120
小計		14	435	135	70	230	
合計		104	2985	1000	1080	905	

※ 1単位・・・講義 15～30時間

実技・演習 40時間

実習 45時間

## 授 業 進 度 表

		3年前期				
科目	頁	4月	5月	6月	7月	8月
保 健 生 態 学 II	66					
衛 生 行 政	67					
社 会 福 祉	68					
口 腔 保 健 管 理 III	69～70	●—●				
栄 養 指 導	71					
地 域 包 括 ケ ア	72					
診 療 補 助 III	73	●—●				
臨 地 ・ 臨 床 実 習	74		●—————●			
歯 科 医 療 事 務	75	●—●				
学 級 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	76	●—●				
課 題 研 究	77	●—●		●—●		
総 合 講 義	78					



教科名	保健生態学Ⅱ	時期	3年 後期	担当者	加藤 元康	(実務)・一般 歯科医師
					田村 堅吾	(実務)・一般 医師
単位(時間数)	2 ( 30 )	形態	講義		岩井 祐司	(実務)・一般 歯科医師
					三浦 伸子	(実務)・一般 歯科衛生士
<b>概要</b> ・ 地域社会における地域保健を担う組織の仕組み、活動について学ぶ。(加藤) ・ 母子保健の目的および概要および保健指導について学ぶ。(加藤) ・ 感染症の成り立ちを理解し、動向やその予防法について学ぶ(田村) ・ 食中毒の発生状況を理解し、食品の安全性や国民の栄養とその問題について考える(田村) ・ 職業性疾病の要因と、産業保健管理やその活動について学ぶ(田村) ・ 精神保健の意義を理解し、活動の現状を学ぶ(岩井) ・ 国際的な保健活動について学ぶ(岩井) ・ 学校保健の意義と概要、学校保健の活動と組織、学校歯科保健について学ぶ(三浦) ・ 成人・老人保健の意義と特徴、制度・関係法規について学ぶ(三浦)						
<b>到達目標</b> 1 地域保健の組織および基本的な進め方を理解できる。(加藤) 2 母子保健の目的および概要、そしてこれに関わる歯科衛生士として必要な知識を習得する。(加藤) 3 感染症の概念と感染成立の三要因について説明できる(田村) 4 感染予防、流行防止の対策および感染症対策の体系と内容がわかる(田村) 5 食中毒の分類と特徴を説明できる(田村) 6 産業衛生に関する法規がわかる(田村) 7 職業性疾病を起こす要因がわかる(田村) 8 精神保健の定義、意義を説明できる(岩井) 9 精神保健活動の現状と歯科保健の問題点を説明できる(岩井) 10 国により、保健の発達程度が異なっていることを理解できる(岩井) 11 WHOやJICAの活動を理解できる(岩井) 12 学校保健の保健教育と保健管理(特に学校健診について)を説明できる(三浦) 13 生活習慣病のリスクファクターを列挙できる(三浦) 14 高齢者の保健対策に係る制度と法律を説明できる(三浦)						
<b>計画・(内容)</b>					<b>担当</b>	
1 地域保健の概念、対象および組織について理解、習得する。 地域保健の新たな概念(ヘルスプロモーション・ノーマライゼーションなど)について理解、習得する。					加藤	
2 地域保健の活動の進め方(項目・計画・評価・アプローチ法)について理解、習得する。 地域歯科保健(8020運動・健康日本21と健康増進法)について理解、習得する。					〃	
3 母子保健の目的と概要、『健やか親子21』について理解、習得する。					〃	
4 感染症 (感染症発症の要因)					田村	
5 〃 (感染症の予防)					〃	
6 〃 (感染症対策とくに感染症法およびその他の法規について)					〃	
7 食品と健康 ①食中毒 ②食品の安全性 ③国民の栄養とその問題(栄養素、生活習慣、メタボリック症候群および生活習慣病) ④食育					〃	
8 産業保健 (1.産業衛生に関する法規 2.職業性疾患 3.産業保健管理 4.産業保健活動)					〃	
9 精神保健の意義、医療、精神障害者の歯科保健					岩井	
10 国際協力と口腔保健戦略					〃	
11 学校保健 (学校保健の意義と概要、学校保健の活動と組織、学校歯科保健の3領域について)					三浦	
12 成人保健 (成人保健活動の現状と対策について学ぶ)					〃	
13 老人(高齢者)保健 (老人(高齢者)保健のための行政組織と法律について学ぶ)①					〃	
14 〃 ②					〃	
15 まとめ(国試対策)					〃	
<b>教本・参考図書</b> 最新歯科衛生士教本 保健生態学第2版 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1				<b>評価方法</b> 筆記試験 27点 小テスト(復習テスト4回)3点【加藤】 筆記試験 30点 【田村】 筆記試験 20点 【三浦】 筆記試験 20点 【岩井】 合計 100点		
留意事項						

教科名	衛生行政	時期	3年 後期	担当者	永盛 恒男	実務・ <b>一般</b>
単位(時間数)	1 ( 15 )	形態	講義			
<b>概要</b> ・ 法学の基本概念、衛生行政の仕組み、いわゆる歯科三法を中心に、その衛生関連の法律を学ぶ。						
<b>到達目標</b> 1 行政、特に衛生行政の仕組みについて理解できる 2 法律の条文について正確に読み、かつ理解できる 3 医療の動向や各種統計についても関心をもち理解できる						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>
1 講義全体のアウトライン、学習のポイントの説明 2 法制概論 (法の定義、種類など、法学の基本概念) 3 法制概論 (衛生法規を中心に) 4 衛生行政の概要 (行政の定義、衛生行政の目的、沿革、歯科衛生行政) 5 医療の動向 (国民の健康、医療施設及び関係者の現況、各種統計) 6 歯科関係三法 (歯科衛生士法、歯科医師法、歯科技工士法) 7 歯科関係三法 (歯科衛生士法、歯科医師法、歯科技工士法) 8 その他の関係法規 (医療法、医師法、地域保健法、その他の法律) 及び講義全体の復習 (重要事項の再確認)						永 盛 // // // // // // //
<b>教本・参考図書</b> 最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度				<b>評価方法</b> ・ 筆記試験 (100点)		
<b>留意事項</b>						

教科名	社会福祉	時期	3年 後期	担当者	寺尾 賢一	実務・一般 社会福祉士
単位(時間数)	1 ( 15 )	形態	講義			
<b>概要</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>テキストの内容や関連する制度の理解を進めるとともに、現在の社会福祉と制度の関連、医療の社会制度と患者さんの生活との関連について理解を深めていく力を養う。</li> </ul>						
<b>到達目標</b>						
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会保障の種類とその特徴について概説できる</li> <li>2 医療保険の種類とその法律について概説できる</li> <li>3 介護保険制度の仕組みについて概説できる</li> <li>4 年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険について概説できる</li> <li>5 歯科衛生士に関する社会福祉について概説できる</li> </ol>						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション (社会保障・社会福祉とは何かについて)</li> <li>2 社会保障概論 (医療と福祉の連携の重要性について)</li> <li>3 社会保険 (医療保険制度の重要性について)</li> <li>4 " (医療保険制度の内容について)</li> <li>5 " (介護保険制度について)</li> <li>6 " (その他の社会保険制度について)</li> <li>7 社会福祉 (生活保護制度/児童福祉・高齢者福祉について)</li> <li>8 " (障がい者(児)福祉について/相談援助技術について)</li> </ol>						寺尾 " " " " " " "
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>		
最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度				筆記試験 100点		
<b>留意事項</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>レジメを配布するので、復習となるため熟読すること。</li> <li>福祉に関するテレビ番組、報道について関心を持ってみること。</li> <li>授業内で復習問題を行います。</li> </ul>						



教科名	口腔保健管理Ⅲ	時期	3年 前期・後期	担当者	永橋 茜 山岸 有子 千葉 佳鈴 渡邊 佳子	実務	歯科衛生士
単位(時間数)	1 ( 80 )	形態	講義・実技・演習				
<b>概要</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>患者誘致実習・患者設定相互実習を通して、実際の歯周病の病態を診ることにより、歯周病予防についての判断・処置を行える能力を養う。</li> <li>各々のライフステージにおける特徴を理解し、歯周病を増悪させるリスクファクターに対する歯周病予防の指導を身に付け生涯を通して人々が健康を維持・増進するための予防法を学ぶ。</li> </ul>							
<b>到達目標</b>							
<ol style="list-style-type: none"> <li>1患者誘致実習を通して患者対応を学び、歯周病における情報収集・歯周基本検査を行い、データに基いた指導・処置ができる。</li> <li>2患者設定相互実習では喫煙者・糖尿病に対する歯周病のリスクについての理解を深め、分かりやすい指導ができる。</li> <li>3症例別検討では歯周病の中等度から重度の口腔内を理解し、改善に向けての指導ができる。</li> <li>4高齢者の症例別検討では、口腔粘膜や歯周病の特徴に対して理解を深め、歯周病予防の指導ができる。</li> <li>5災害時における歯科衛生士の役割を理解する。</li> </ol>							
<b>計画・(内容)</b>							<b>担当</b>
前期							
1 高齢者の歯周病(歯周病と全身との関係)							永橋
2 施設実習における集団指導(健口教室の内容検討)							山岸
3 有病者の口腔保健管理(急性期・留意すべき全身疾患)							千葉
4 認知症患者における食事観察(ミールラウンド)							山岸
5 高齢者・有病者における口腔ケア(アセスメント・計画立案)							山岸
6 高齢者・有病者における口腔ケア演習(状況設定における口腔ケア)							千葉
7 高齢者・有病者における口腔ケア演習(状況設定における口腔ケア)							千葉
後期							
8 老年期における集団指導①(健口教室概要)							山岸・渡邊
9 老年期における集団指導②(健口教室準備)							山岸・渡邊
10 老年期における集団指導③(健口教室準備)							山岸・渡邊
11 老年期における集団指導④(健口教室準備)							山岸・渡邊
12 老年期における集団指導⑤(健口教室リハーサル)							山岸・渡邊
13 老年期における集団指導⑥(健口教室実施-1)							山岸・渡邊
14 老年期における集団指導⑦(健口教室実施-2)							山岸・渡邊
15 患者誘致実習オリエンテーション(実習の流れ、問診票について)							千葉
16 歯周組織検査(実技試験)							永橋
17 歯周組織検査・学齢期の保健指導(1・3年生 合同相互実習)							永橋
18 歯周組織検査・学齢期の保健指導(1・3年生 合同相互実習)							永橋
19 患者設定設定における保健指導(指導内容・方法の検討)							千葉
20 患者設定設定における保健指導(喫煙者・糖尿病患者に対する指導)							千葉
21 患者設定設定における保健指導相互実習(喫煙者・糖尿病患者に対する指導)							千葉
22 患者設定設定における保健指導相互実習(喫煙者・糖尿病患者に対する指導)							千葉
23 口腔清掃用品(種類と特徴)							山岸
24 キュレットスケーラーを使用した歯石除去(マネキン実習)							永橋
※ 演習授業については、科目担当教員(永橋・山岸・千葉・渡邊)が指導を行う。							
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>			
最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論				実技試験(10点×3回実施=30点)			
最新歯科衛生士教本 高齢者歯科				筆記試験(70点) 合計100点			
最新歯科衛生士教本 歯周病学							
歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション							
<b>留意事項</b>							
<p>配布されたプリント及び参考資料は、予習・復習の際に必要となるため、指示に従い使用・保管すること</p> <p>演習、グループワーク及び発表の際には、積極的に参加すること</p> <p>実技の授業を欠席した場合は、後日補講を行う</p> <p>忘れ物について:白衣・器具・器材の場合は授業を受けることができない/教科書・プリントの場合はレポート提出となる</p> <p>演習授業を欠席した場合は、後日補講を行う</p>							

教科名	口腔保健管理Ⅲ	時期	3年 前期・後期	担当者	永橋 茜 山岸 有子 千葉 佳鈴 渡邊 佳子	実務		歯科衛生士	
単位(時間数)	1 ( 80 )	形態	講義・実技・演習						
<b>概要</b>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>患者誘致実習・患者設定相互実習を通して、実際の歯周病の病態を診ることにより、歯周病予防についての判断・処置を行える能力を養う。</li> <li>各々のライフステージにおける特徴を理解し、歯周病を増悪させるリスクファクターに対する歯周病予防の指導を身に付け生涯を通して人々が健康を維持・増進するための予防法を学ぶ。</li> </ul>									
<b>到達目標</b>									
<ol style="list-style-type: none"> <li>1患者誘致実習を通して患者対応を学び、歯周病における情報収集・歯周基本検査を行い、データに基づいた指導・処置ができる。</li> <li>2患者設定相互実習では喫煙者・糖尿病に対する歯周病のリスクについての理解を深め、分かりやすい指導ができる。</li> <li>3症例別検討では歯周病の中等度から重度の口腔内を理解し、改善に向けての指導ができる。</li> <li>4高齢者の症例別検討では、口腔粘膜や歯周病の特徴に対して理解を深め、歯周病予防の指導ができる。</li> <li>5災害時における歯科衛生士の役割を理解する。</li> </ol>									
<b>計画・(内容)</b>								<b>担当</b>	
25 グレーシーキュレットスケーラーのシャープニング								永橋	
26 患者誘致模擬実習(相互実習)								千葉	
27 患者誘致模擬実習(相互実習)								千葉	
28 グレーシーキュレットスケーラーのシャープニング(実技試験)								永橋	
29 業務記録①(SOAPの書き方)								永橋	
30 口腔ケア相互実習(患者設定における口腔ケア)								渡邊	
31 口腔ケア相互実習(患者設定における口腔ケア)								渡邊	
32 災害時における歯科衛生士の役割①(歯科保健医療のためのアセスメントと支援活動)								永橋	
33 災害時における歯科衛生士の役割②(検死の際に必要な知識とその方法)								永橋	
34 患者設定における保健指導(実技試験)								永橋	
35 患者設定における保健指導(実技試験)								永橋	
36 国家試験対策①(歯周病予防)								山岸	
37 患者誘致実習(模擬患者実習)								千葉	
38 患者誘致実習(模擬患者実習)								千葉	
39 業務記録②(SOAPの書き方)								永橋	
40 国家試験対策②(保健指導)								山岸	
※ 演習授業については、科目担当教員(永橋・山岸・千葉・渡邊)が指導を行う。									
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>					
最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論				実技試験(10点×3回実施=30点)					
最新歯科衛生士教本 高齢者歯科				筆記試験(70点) 合計100点					
最新歯科衛生士教本 歯周病学									
歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション									
<b>留意事項</b>									
配布されたプリント及び参考資料は、予習・復習の際に必要となるため、指示に従い使用・保管すること									
演習、グループワーク及び発表の際には、積極的に参加すること									
実技の授業を欠席した場合は、後日補講を行う									
忘れ物について: 白衣・器具・器材の場合は授業を受けることができない/ 教科書・プリントの場合はレポート提出となる									
演習授業を欠席した場合は、後日補講を行う									

教科名	栄養指導	時期	3年 後期	担当者	佐賀 暁美	実務・一般 管理栄養士
単位(時間数)	2 ( 30 )	形態	講義		渡邊 恵里	実務・一般 歯科衛生士
<b>概要</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食物を口から咀嚼・嚥下し、各栄養素が消化・吸収され、体内で代謝されていく過程の知識を深め、疾患も含めた栄養(食事)の在り方を学ぶ。(佐賀)</li> <li>・日本人の栄養摂取状況の実態を把握し、食事摂取基準を理解することで、食品をバランスよく組み合わせ「望ましい食生活」へと、個々にわかりやすく導くことを学ぶ。(佐賀)</li> <li>・健康維持のために、栄養と口腔状態との重要性が近年取り上げられることから、栄養状態の評価や食品とう蝕・歯周疾患を傷病者・高齢者などの特徴と結び付けながら学ぶ。(佐賀・渡邊)</li> </ul>						
<b>到達目標</b>						
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 各栄養素の消化・吸収による代謝から、働きや健康・疾病を概説できる (佐賀)</li> <li>2 食事摂取基準をもとに、日本人の食生活の問題点を理解し改善につなげることができる (佐賀)</li> <li>3 傷病者・高齢者などの栄養評価と特徴を結び付けることができる (佐賀)</li> <li>4 栄養指導に関する国家試験過去問題が解ける (渡邊)</li> </ol>						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>
1 栄養学総論 (栄養と栄養素)						佐賀
2 栄養の基礎知識 (人体における消化・吸収作用・代謝について)						〃
3 栄養素の基礎知識 (糖質の働きを中心に)						〃
4 栄養素の基礎知識 (たんぱく質の働きを中心に)						〃
5 栄養素の基礎知識 (脂質の働きを中心に)						〃
6 栄養素の基礎知識 (ビタミンの働きを中心に)						〃
7 栄養素の基礎知識 (ミネラル・水・食物繊維の働きを中心に)						〃
8 食生活と栄養指導 (現代の日本人における問題点など)						〃
9 日本人の食事摂取基準2015 (食事バランスガイド・栄養量の算出含む)						〃
10 栄養状態の評価 (スクリーニングとアセスメント・傷病者への対応中心に)						〃
11 ライフステージ別指導 (妊娠期・新生児期・乳児期・幼児期・学齢期)						〃
12 ライフステージ別指導 (青年期・成人期・老年期)						〃
13 食品とう蝕誘発性 (代用甘味料)/咀嚼と食品 (咀嚼の目的・食生活と咀嚼)						渡邊
14 ライフステージ別の栄養と調理(高齢期)演習						〃
15 ライフステージ別歯科保健指導・国家試験対策						〃
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人体の構造と機能2 栄養と代謝</li> <li>・歯科予防処置論・歯科保健指導論</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆記試験70点 【佐賀】</li> <li>・筆記試験30点 【渡邊】</li> </ul>		
				合計 100点		
<b>留意事項</b>						

教科名	地域包括ケア	時期	3年・後期	担当者	東 清美	実務・一般 主任ケアマネジャー
					佐藤 美知子	実務・一般 理学療法士
野田 正貴	実務・一般 作業療法士					
川村 曜輔	実務・一般 歯科医師					
松本 美架	実務・一般 歯科衛生士					
奥 ひろみ	実務・一般 歯科衛生士					
単位(時間数)	1 ( 15 )	形態	講義			
<b>概要</b>						
<p>地域包括ケアシステムとは、要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けることが出来るよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に提供される仕組みである。この地域包括ケアシステムを推進するうえで、多職種の連携、協働は重要であり、そのなかで歯科衛生士としてどのように関わっていくべきかを学ばなければならない。本科目では、地域包括ケアシステムの考えを理解し、各職種の役割と活動の実際を学ぶ。</p>						
<b>到達目標</b>						
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域包括支援センターの機能と役割が理解できる</li> <li>2. 地域包括システムにおける多職種連携について理解できる</li> <li>3. 在宅歯科医療連携室の機能と役割、活動について理解できる</li> <li>4. 地域ケア会議の必要性が理解できる</li> </ol>						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>
1. 地域包括ケアシステムの概要と、地域包括支援センターの機能と役割						東
2. 地域包括ケアセンターにおける、地域で暮らす高齢者等へ向けた支援・取り組みについての実際を学ぶ。						東
3. 多職種連携、協働を図るうえで必要となる職種の特性を知る。 理学療法士の役割、業務や活動の実際を学ぶ。						佐藤
4. 多職種連携、協働を図るうえで必要となる職種の特性を知る。 作業療法士の役割、業務や活動の実際を学ぶ。						野田
5. 在宅歯科医療連携室の機能と役割について学び、地域歯科保健に携わる者としての意識を高める。 地域歯科医療に携わる中で、DVにつながる前段階でのネグレクト状態を発見できる可能性を有していると自覚する。 (15～20分 スライド) ネグレクトを早期発見することで、児童が深刻な命の危険にさらされる前に注意喚起を行ったり、多職種との連携での見守りを強化するきっかけづくりができることを自覚する。						川村
6. 在宅歯科医療連携室における歯科衛生士の役割と、その業務の実際について事例をもとに学ぶ。						松本
7. 地域ケア会議の必要性とその内容、また歯科口腔保健・歯科医療に携わる専門職としての役割を学ぶ						奥
8. 地域ケア会議を演習を通して学ぶ						奥
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>		
授業ごとにプリント、資料を配布 パワーポイントを使用				筆記試験 (80点) レポート (20点) 合計 100点		
<b>留意事項</b>						

教科名	診療補助Ⅲ	時期	3年 前期・後期	担当者	渡邊恵里 三浦伸子 渡邊佳子	実務 歯科衛生士
単位(時間数)	1 ( 40 )	形態	講義・実技・演習			
<b>概要</b> 様々なライフステージにおける診療内容に対する介助や直接行為の基礎的な知識と技術を習得することで診療行為の集約をはかり、診療の効率化に大きく寄与することができる能力と、実践力を養う。 3年生では臨床現場で実践できる診療補助の基礎能力と国家試験に対応できる知識を身につける。 患者の身体の情報を読み取り、歯科治療に必要な臨床検査の実施内容について理解する。 高齢者の口腔の疾患状況に応じた口腔ケア・歯科訪問診療について学ぶ						
<b>到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の口腔内観察ができる</li> <li>・高齢者のアセスメントの方法がわかる</li> <li>・高齢者の口腔ケア、訓練ができる</li> <li>・在宅歯科診療の意義がわかる</li> <li>・補綴に使用する材料・器具がわかる</li> <li>・歯科領域に必要な臨床検査の目的・役割を学ぶ</li> <li>・周術期歯科診療がわかる</li> <li>・ホワイトニングの方法がわかる</li> </ul>						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>
前期						
1 高齢者の診療補助(口腔内観察、アセスメント等)						三浦
2 高齢者の診療補助(口腔内観察、アセスメント等)						三浦
3 高齢者の診療補助(口腔内観察、アセスメント等演習)						三浦
4 高齢者の診療補助(車いす上での口腔ケア演習)						渡邊
5 高齢者の診療補助(ベット上での口腔ケア演習)						渡邊
6 周術期における歯科診療の補助						渡邊
後期						
7 高齢者に係る評価について						三浦
8 在宅歯科診療(訪問診療における対応)						渡邊
9 在宅歯科診療(訪問診療における対応、演習)						渡邊
10 スクリーニング・講義、演習(口腔機能復習・訪問診療のための機能訓練)						三浦
11 間接訓練・講義、演習(口腔機能復習・訪問診療のための機能訓練)						三浦
12 ホワイトニング(講義)						渡邊
13 歯科領域に必要な臨床検査(生体検査、検体検査)						三浦
14 補綴の診療補助(ワックス・セラミックス・CAD/CAM)・小児歯科の診療補助						三浦
15 補綴の診療補助(器具、種類)						三浦
16 歯科領域に必要な臨床検査(生体検査、検体検査)						三浦
17 歯科領域に必要な臨床検査(生体検査、検体検査)						三浦
18 障害者の対応について						渡邊
19 合同授業(高齢者口腔ケア)						渡邊
20 合同授業(高齢者口腔ケア)						渡邊
<b>教本・参考図書</b> 最新歯科衛生教本 歯科診療補助第2版 最新歯科衛生教本 歯科器機 最新歯科衛生教本 歯科材料 ※その他必要な教本があれば指示します				<b>評価方法</b> 筆記試験(100点)		
<b>留意事項</b> 配布されたプリントは、予習復習となるため、指示に従い講義時間外に必ず行うこと グループワーク及び発表には積極的に参加すること 授業時間内に確認問題を行う場合あり 忘れ物(白衣・器具・器材)をした場合、演習には参加できません 演習前には始業点検を終了しておくこと						

教科名	臨地・臨床実習	時期	3年	担当者	実習指導者 (登録者)	実務	歯科医師・看護師 歯科衛生士 介護福祉士																				
単位(時間数)	10( 450 )	形態	実習																								
<b>概要</b>																											
<p>歯科衛生士業務を修得するために、歯科診療の場を通して歯科衛生士としての必要な知識・技術および態度を身に付ける。歯科診療所における受付業務の一連の流れを学ぶ。最終学年での臨床実習であることを自覚し、将来への方向性を見出す。総合病院では口腔外科治療、有病者歯科診療を見学し、その特徴や患者対応、総合病院のなかでの歯科の役割を学ぶ。病棟実習では歯科衛生士の専門的口腔ケアの見学、多職種との連携を学ぶ。また、指導者の指示のもと粘膜ケア、残存歯のブラッシング、義歯の清掃などを実施する。高齢者施設では食事介助をはじめとした介護技術の習得とコミュニケーションについて学び、歯科衛生士の指示のもと実際に口腔ケアを実施する。</p>																											
<b>到達目標</b>																											
<p>歯科診療所 行われている治療内容と病名が理解できる 歯周病における口腔内観察ができる 幼児期、学齢期の口腔衛生指導ができる 歯科医師、歯科衛生士や他職種と協同・連携ができる プライバシーを配慮した態度で対応できる</p> <p>口腔保健センター 障がい者の特徴がわかる 障がい者診療の上での注意事項、対応方法がわかる</p> <p>総合病院 口腔外科の症例について説明できる 口腔外科診療の術式と準備するものがわかる 有病者診療の上での注意事項、対応がわかる</p> <p>病棟実習 術前、術後の口腔機能管理、口腔ケアの流れについて説明できる(回復期、急性期、慢性期の場合もある) 指導者のもと器質的口腔ケアを実施できる</p> <p>高齢者施設 状況に応じた介護・支援ができる ホスピタリティマナーを理解し、コミュニケーションをとる事ができる 口腔内の観察ができる 口腔ケアを実践できる</p>																											
<b>計画・(内容)</b>							<b>担当</b>																				
<p>臨地・臨床実習</p> <p>函館市内、近郊の歯科診療所での実習 函館市内、近郊の高齢者施設での実習 口腔保健センター、総合病院での実習</p> <p>4月～8月 73日間 450時間</p> <table border="1"> <tr> <td>歯科診療所</td> <td>1日約6時間</td> <td>55日間</td> <td>326時間</td> </tr> <tr> <td>高齢者施設</td> <td>1日 7時間</td> <td>10日間</td> <td>70時間</td> </tr> <tr> <td>総合病院</td> <td>1日 7時間</td> <td>5日間</td> <td>35時間</td> </tr> <tr> <td>口腔保健センター</td> <td>1日 7時間</td> <td>1日間</td> <td>7時間</td> </tr> <tr> <td>病棟</td> <td>1日 6時間</td> <td>2日間</td> <td>12時間</td> </tr> </table>							歯科診療所	1日約6時間	55日間	326時間	高齢者施設	1日 7時間	10日間	70時間	総合病院	1日 7時間	5日間	35時間	口腔保健センター	1日 7時間	1日間	7時間	病棟	1日 6時間	2日間	12時間	
歯科診療所	1日約6時間	55日間	326時間																								
高齢者施設	1日 7時間	10日間	70時間																								
総合病院	1日 7時間	5日間	35時間																								
口腔保健センター	1日 7時間	1日間	7時間																								
病棟	1日 6時間	2日間	12時間																								
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>																							
				<p>歯科診療所院長 担当歯科衛生士による評価 80点 (2件の歯科医院の平均点) 取り組み(意欲・積極性)、態度 コミュニケーション 記録、基礎知識、技術 ・施設、病院、口腔保健センターの評価なし</p> <p>反省会 20点 内容 発表の仕方 時間等 ガイダンス 出欠状況など 合計100点満点</p>																							
<b>留意事項</b>																											
<p>事前オリエンテーションがある場合必ず参加すること。また、実習記録の提出期限を守ること 総合病院の口腔外科手術前には症例について予習しておくこと。また、実習期間中はアルバイトを入れないほうが好ましい 体調管理を心がけること 欠席・遅刻・早退し実習時間が不足した場合は、公欠・忌引に関わらず補講実習を行う 合計点が60点に満たない場合は、再実習を行う。</p>																											



教科名	歯科医療事務	時期	3年 前期・後期	担当者	山岸 有子	実務 歯科衛生士
単位(時間数)	2 ( 40 )	形態	講義・演習		千葉 佳鈴	
<b>概要</b> ・医療保障制度を学び、カルテの内容を理解し歯科医療事務管理士の資格の取得を目指す。						
<b>到達目標</b> 1 保険の種類、負担割合が分かる 2 カルテの内容を理解し、診療行為の流れと関連付けて理解できる 3 病名と診療点数の解釈と応用ができる 4 薬価、麻酔の点数計算ができる 5 診療報酬明細書(レセプト)の記載が正確にできる						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>
1 医療機関の概要・医療保険のしくみ(保険者番号、被保険者証の分類について)						山岸・千葉
2 医療保障制度(長寿医療、公費負担医療・保険証を使ってカルテを作成する)						〃
3 歯の知識・点数算定の基本(歯式と方向用語)						〃
4 点数算定の基本① (基本診療料)						〃
5 点数算定の基本② (特掲診療料)						〃
6 点数算定の基本③ (特掲診療料)						〃
7 歯冠修復(種類と算定方法)						〃
8 傷病による治療と算定① (硬組織疾患・歯髄疾患・歯周組織疾患)						〃
9 傷病による治療と算定② (軟組織疾患・歯周疾患・その他の疾病)						〃
8 投薬、薬価・麻酔の算定方法						〃
9 欠損補綴① (義歯について)						〃
10 欠損補綴② (ブリッジについて)						〃
11 床適合・歯冠修復物及びブリッジの脱落・再装着						〃
12 修理(歯冠修復物・有床義歯)						〃
13 トレーニングブックによる解説①						〃
14 トレーニングブックによる解説②						〃
15 トレーニングブックによる解説③						〃
16 トレーニングブックによる解説④						〃
17 レセプト点検問題について						〃
18 トレーニングブックによる解説⑤						〃
19 トレーニングブックによる解説⑥						〃
20 トレーニングブックによる解説⑦						〃
<b>教本・参考図書</b> テキスト1 医療保障制度 テキスト2 診療報酬の算定 テキスト3 サポートブック テキスト4 トレーニングブック テキスト5 歯科試験問題集 歯科合診療報酬点数早見表 レセプト用紙				<b>評価方法</b> ・歯科医療事務管理士技能認定試験の合格をもって可否の基準とする		
<b>留意事項</b>						

教科名	学級コミュニケーション	時期	3年 前後期	担当者	渡邊 佳子	実務 歯科衛生士
単位(時間数)	1 (40)	形態	講義・演習		専任教員	
<b>概要</b> 定期試験、国家試験合格のためのクラスとしての方策を考え、目標達成のために、クラス一同で協力し合い学ぶ。 クラスメイトと交流を図り、親睦を深める。 グループワークや構成的エンカウンターを行うことにより、他者を理解することや協調性を育む。 学校行事等では最高学年としての自覚を持ちリーダーシップを発揮し、企画・運営を行う。						
<b>到達目標</b> コミュニケーションスキル、ホスピタリティマナーを身につける 円滑な人間関係を構築できる 定期試験、資格試験や国家試験にむけた計画・学習方法がわかる クラス全員が定期試験、資格試験合格にむけ協力し合い、学習する習慣を身につける 3年生としてリーダーシップを発揮できる						
<b>計画・(内容)</b>						<b>担当</b>
1 クラス・個人目標設定、(2年次の反省に基づき目標を設定する)						渡邊
2 学習(国家試験にむけた年間計画・臨床実習中計画)						渡邊
3 学習(臨床実習中、国家試験にむけた対策)						渡邊
4 学習(臨床実習中、国家試験にむけた対策)						渡邊
5 学習(臨床実習中、国家試験にむけた計画反省)						渡邊
6 学習(国家試験にむけた対策見直し・計画)						渡邊
7 就職①						渡邊
8 就職②						渡邊
9 就職③						渡邊
10 研修旅行について(障害者センターについてのグループ学習など)						渡邊
11 研修旅行準備						渡邊
12 研修旅行準備						渡邊
13 研修旅行反省						渡邊
14 学校祭①						渡邊
15 学校祭②						渡邊
16 学習(冬休み前国家試験にむけた計画・対策)						渡邊
17 状況に応じたSL(その時期に必要と思われる内容を実施する)						渡邊
18 状況に応じたSL(その時期に必要と思われる内容を実施する)						渡邊
19 国家試験に向けて						渡邊
20 卒業に向けて						渡邊
※内容により担当、順序が替わること有り						
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b> 定期試験 なし 単位修得の為の出席確認 (欠席の場合、レポート提出)		
<b>留意事項</b> 国家試験合格を目標とし、達成に向けて計画的に行動すること。 グループワーク及び発表には積極的に参加すること。 行事では積極的に行動し、楽しむこと。また、全員が楽しめるよう周囲の状況をよく観察し工夫すること。 学校行事の準備は全員で協力し合うこと。 最低、月に一度は5Sを実施する。						



教科名	課題研究	時期	3年 前・後期	担当者	奥 ひろみ	実務・一般 歯科衛生士
単位(時間数)	1 ( 30 )	形態	講義		専任教員	実務・一般 歯科衛生士
<b>概要</b>						
<p>歯科衛生の実践に根ざした学術研究は、歯科衛生業務を確立し、発展させるために欠かせないことである。歯科衛生研究の目的である、歯科衛生業務に関する疑問・課題について研究し、知識や理論を導き出すことについて、その方法や手順、留意点を理解したうえで研究成果の発表までをグループとして取り組むことにする。</p> <p>なお、授業は2年後期～3年前期まで継続して学び、準備、研究、まとめ、発表と進めていく。</p>						
<b>到達目標</b>						
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 問題解決を図るための専門的知識が深まる</li> <li>2. 自発的、創造的な学習態度が備わる</li> <li>3. 研究の手順や方法が身につく</li> </ol>						
<b>計画・(内容)</b>						
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究計画書をもとに、進行手順を確認する</li> <li>2.                    "</li> <li>3. 進捗状況の確認と、計画の調整</li> <li>4.                    "</li> <li>5. データの収集と分析 (PC実習室)</li> <li>6.                    "</li> <li>7.                    "</li> <li>8.                    "</li> <li>9. プレゼンテーションの要領説明と抄録の作成について</li> <li>10. スライドの作成 (PC実習室)</li> <li>11.                   "</li> <li>12.                   "</li> <li>13. プレゼンテーションの練習、抄録の作成</li> <li>14. プレゼンテーションの練習、スライド・抄録の提出</li> <li>15. プレゼンテーション</li> </ol>						
<b>教本・参考図書</b>				<b>評価方法</b>		
				プレゼンテーション、抄録の採点 (100点)		
<b>留意事項</b>						

教科名	総合講義	時期	3年 後期	担当者	各教科担当教員
単位(時間数)	4 ( 120 )	形態	講義		
<b>概要</b> 国家試験対策として1、2年次に履修した科目の復習を行う。 授業は、国家試験の出題傾向を促えた内容であり、重要ポイントの確認や例題の解説を中心に行う。					
<b>到達目標</b> 1 国家試験に出題される範囲がわかる 2 国家試験過去問題や例題が解ける 3 国家試験に対応できる学力をつける					
計画・(内容)					担当
解剖・生理	2回	国家試験対策、まとめ、例題		田村	
口腔解剖	2回	"		岩井祐・加藤	
口腔組織	1回	"		京田	
口腔生理	1回	"		深瀬	
病理学	2回	"		勝又謙・富樫	
微生物学	2回	"		鍵谷・澤辺	
薬理学	2回	"		熊川・林	
口腔リハビリテーション	1回	"		野村	
摂食嚥下	1回	"		伊藤	
保健生態学Ⅱ	3回	"		奥・岩井祐	
衛生統計	1回	"		岩井祐	
歯内療法	2回	"		岩井宏・福田	
保存修復	2回	"		鈴木・吉村	
矯正歯科	2回	"		大内・勝又茂	
歯科補綴	2回	"		北條・四條	
小児歯科	1回	"		向山	
歯周疾患	2回	"		石塚・光銭	
口腔外科	2回	"		白石・渡邊	
放射線	1回	"		中野	
障がい者歯科	1回	"		藤巻	
高齢者・有病者歯科	2回	"		佐藤・渡邊	
口腔保健管理Ⅰ	5回	"		永橋・山岸・千葉	
口腔保健管理Ⅱ	5回	"		永橋・山岸・千葉	
口腔保健管理Ⅲ	5回	"		永橋・山岸・千葉	
診療補助	10回	"		三浦・渡邊・渡邊	
<b>教本・参考図書</b> ・各科目の教本 ・2022版徹底分析 年度別歯科衛生士国家試験問題集 ・国試の麗人(DES歯科衛生士部) ※各担当教員の指示に従う				<b>評価方法</b> 単位認定試験	
<b>留意事項</b> ・配布されたプリントは指示に従い適切に保管すること ・課題やプリント提出は期日を厳守すること					